

# 履修案内

平成5年度

神田外語大学

*Kanda University of International Studies*

## XI 平成5年度開講科目の講義概要

### 〔1〕一般教育科目等

#### 1) 人 文

<h1 style="font-size: 2em; margin: 0;">歴 史 A</h1>	こう やま し ろう 神 山 四 郎	4 単 位
		1～4年
		通 年

近代ヨーロッパ社会の思想の歴史を述べる。講義の概要は次のとおり。

- 1 「近代」の意味。
- 2 ルネサンスの時代（マキアヴェリの政治力学）。
- 3 宗教改革の時代（カルヴィニズムの職業倫理と資本主義の発達）。
- 4 絶対王政の時代（モアの『ユートピア』の社会的ヒューマニズム）。
- 5 市民革命の時代（ホブス・ロック・ルソーの社会契約説からベンサム功利主義へ）。
- 6 啓蒙主義の時代（啓蒙思想と啓蒙専制君主）。
- 7 産業革命の時代（工業化社会とオーエンの社会主義）。

このあと、ナショナリズムの競合、帝国主義、二つの世界大戦、戦後の冷戦体制から現代までの思想を通観する。

試 験：定期試験（年1回）以外にレポートを書かせることがある。出席重視。

<h1 style="font-size: 2em; margin: 0;">歴 史 B・C</h1>	やま りょう けん じ 山 領 健 二	4 単 位
		1～4年
		通 年

今日の諸問題の起点として20世紀初めの日本の歴史を考える現代史の講義である。日露戦争前後から約30年間の諸問題を、政治、社会、経済、文化など、さまざまな角度からとり上げたい。テキストは特に定めないが、授業の中で参考書を指示する。

試 験：レポートおよび試験により評価する。

歴 史 D	とら お とし や 厩 尾 俊 哉	4 単 位
		1 ~ 4 年
		通 年

日本史のoutlineを講義する。ただし網羅的ないわゆる概説ではなく、時代を追って幾つかの重要なテーマを設定し、ともに歴史を学びかつ考えるという姿勢で行ないたい。

なお、少なくとも日本史に関する高校水準の基礎知識を自学自習することを希望する。

試 験：ノート提出（手書き、前・後期各1回）と学年末のペーパーテストを併せて評価する。

テキスト名：Chronology of Japan ed. T.TORAO & D.M. BROWN

（ビー・アイ・アイ／洋販）

歴 史 E	かつら よし き 桂 芳 樹	4 単 位
		1 ~ 4 年
		通 年

講義テーマ：ルネサンス・フィレンツェの文化と社会

イタリア・ルネサンス発祥の地であるフィレンツェのメディチ家三代にわたる文化と社会の発展を考究する。この時代ほど政治・社会・思想・神話・文学・美術・建築・風俗などの多角的な現象が渾然一体となって万華鏡のような煌きを放った時代はない。テキストは特に使用しないが、授業のさいに要点をまとめたプリントをその都度教室で配布する。また必要な参考文献も教室で指示する。スライドも使用。

試 験：授業で扱ったテーマの中から若干のものを選んで記述させる。

歴 史 F	かつら 桂	よし 芳	き 樹	4 単 位
				1～4 年
				通 年

**講義テーマ：ルネサンスの女性文化**

ルネサンスは男性社会であったが、その反面、政治・宗教・文学などの各分野において個性的な女性が輩出した。実務と戦争に明け暮れる男性文化の背後で、この時代の精神文化を支えていたのが、このような女性たちである。

授業では下記のテキストを使用して、ヴィットリア・コロナ、トゥリア・ドラゴーナ、ジュリア・ゴンザガ、ルイーザ・ラベなどイタリア、フランス・ルネサンスの先端的な女性たちの極限的な生の軌跡を辿る。

試 験：授業中に取り上げたテーマから若干のものを選んで、試験で記述させる。  
テキスト、資料など持ち込み可。

テキスト名：ガイア・セルヴァディオ『ルネサンスのマドンナたち』、平凡社

哲 学 A	ふる た ぎょう 古 田 暁	4 単 位
		1 ~ 4 年
		通 年

哲学するとはどういうことなのだろうか。この問いと関連した具体的な問題を考え、さらに西欧における哲学的思索の淵源を訪ねて、プラトンの作品を読んでみたい。

試 験：記述式の定期試験。

テキスト名：プラトン「国家」上下(岩波文庫)

哲 学 B・C	ひ かき かつ し 樋 笠 勝 士	4 単 位
		1 ~ 4 年
		通 年

《生命と哲学》

我々人間は、現に生き物として「生きて」いるが、他方で人間精神は自分を取り巻く世界を多様に理解して「生きて」いる。この様な、自然としての生命や知性としての生命のあり方については古来様々の議論があったが、科学の発達した現在の我々の立場を考えて、ベルクソンにおいてとらえてみたいと思う。そして彼の生命観が哲学という営みと如何なる関係をもつかという点もあわせて考えることにしたい。

試 験：未定

テキスト名：ベルクソン『創造的進化』(岩波文庫)

哲 学 D	ひ 樋 かつ 笠 かつ 勝 し 士	4 単 位
		1 ~ 4 年
		通 年

《哲学すること、哲学者、そして死》

ジャンケレヴィッチは、彼の著書『死』の中で死を1人称から3人称に分けて説明している。これによれば、全ての人にとって最も切実なのは「私の死」となるであろう。他方、プラトンは、彼の著書『パイドン』において、ソクラテスの「私の死」を「知を愛すること(=哲学)」という営みをもつものとして語っている。周囲の人々から見れば、既に異なる様相を呈している死の意味を、プラトンは如何に語り出すのか、これをとらえてゆきたいと思う。

試 験：未定

テキスト名：プラトン『ソクラテスの弁明・クリトーン・パイドーン』（新潮文庫）

哲 学 E	ひ 樋 かつ 笠 かつ 勝 し 士	4 単 位
		1 ~ 4 年
		通 年

《古代ギリシャ哲学》

哲学 (philosophia) の起源としての古代ギリシャ哲学を通じて、哲学の生み出した様々の理論と、哲学そのものの意味とについて考えてみることにしたい。

試 験：未定

参 考 書：J.P.デュモン ギリシャ哲学（クセジュ文庫、白水社）

哲 学 F	樋 笠 勝 士 ひ かさ かつ し	4 単 位
		1 ~ 4 年
		通 年

《言語哲学または言語思想》

言語の問題は、古典古代以来、哲学における中心課題となっている。本講座では、伝統的な問題設定が近・現代においてどのように残され或いは改訂されたかを見ることによって言語を多角的に見る視点を養いたいと思う。テキストとしては、メルロ・ポンティ、ヴィトゲンシュタイン、パース等を考えているが、詳細は4月に決めたいと思う。

試 験：未定

テキスト名：未定

倫 理 学 A ・ B	窪 田 高 明 くぼ た こう めい	4 単 位
		1 ~ 4 年
		通 年

現代の社会を生きていく上で、重要な問題となっていることを取り上げ、それが倫理学の立場でどのように考えられるか検討する。取り上げる内容として、現在、予定しているものは、以下のとおり。(ただし、変更の可能性有り。) 倫理学は有効か。社会はなぜ必要か。家族関係は不変か。人間は自由か。貧困の克服。民族と家族。暴力はなぜ悪か。人間と性。

参考文献は講義で指示する。

試 験：未定

テキスト名：饗宴 (岩波文庫)

宗 教 学 A ・ B	や 矢 うち 内 よし 義 あき 顯	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

本年度はつぎの順序でキリスト教概論を行なう。前期は、旧・新約聖書、イエスと神の国、パウロ、キリスト教の基本教説等、キリスト教の基礎的知識を取り扱う。後期は、カトリック、プロテスタント、ギリシア（ロシア）正教等、歴史におけるキリスト教の展開を扱う。

試 験：未定

テキスト名：新共同訳『新訳聖書』

宗 教 学 C ・ D ・ E	や 矢 うち 内 よし 義 あき 顯	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

本年度は次のような順序で宗教学概論を行なう。前期は、宗教学の学問的位置、成立、諸分野について述べたのち、宗教一般の本質、諸特性および文化、社会、人間の生活内部におけるその機能について考える。後期は、ユダヤ教、キリスト教、イスラームを取りあげ、人類の歴史における個別的宗教のあり方を考える。

試 験：未定

テキスト名：教室で指示する。

文 学 A・B	いけ だ こう いち 池 田 弘 一	4 単 位
		1～4年
		通 年

同一素材を扱った古典と現代作品とを比較しつつ読み味わい、文芸の特質を考える。とかく軽視されがちな戯作と呼ばれる近世文芸の分野も大切に読みたい。

一例をあげれば、近松の“俊寛”と菊池寛の“俊寛”、倉田百三の“俊寛”とを読みくらべ、さらに謡曲の“俊寛”、平家物語の“俊寛”へとさかのぼるの類が学習の中心をなす。個々の作品の朗読、輪講を求める。また多くのことを知ってほしいと願って出欠席を重視し、10回以上の欠席ある者には単位を認めない。遅刻、講義中の姿勢についても厳しい態度でのぞむ。

試 験：評価は2回の課題作品によっておこなう。主たる論文は“俊寛”に関するもので、30枚程度の論述を求める。

テキスト名：日本文学 古典と近代 桜楓社

文 学 C・D	うち だ しゅん いち 内 田 俊 一	4 単 位
		1～4年
		通 年

20世紀の精神世界を規定した人物としてマルクス、フロイト、アインシュタインという3人のドイツ系ユダヤ人を挙げるのは今日では常套句と言ってよい。ユダヤの知性がドイツ精神史に及ぼした影響は20世紀初頭のワイマール時代に頂点に達する（ただしその直後に地獄に突き落とされることになる）が、振り返ってみればレッシングやゲーテによって創り出されたドイツの近代文化そのものが、当初からユダヤ的知性との関わりの中で、またそれを摂取することによって形作られていったという一面を持っている。以上のようなテーマをめぐって講義する。

試 験：夏休み後最初の授業日と後期授業の最終日にレポートを提出してもらおう。

文 学 E	いの 井 上 正 篤 うえ まさ あつ	4 単 位
		1 ~ 4 年
		通 年

### 小説における“死”の形態

“死”は“生”の延長であり、“死”の形態はまさに、人間の生の究極的顕現である。ドイツ、フランス、ロシア、日本から、下記4篇の“死”の問題作をとりあげ、世界文学の視点から、鑑賞・考察する。

- 〈ドイツ〉 『変身』(1916, カフカ)
- 〈フランス〉 『異邦人』(1942, カミュ)
- 〈ロシア〉 『イワン・イリッチの死』(1886, トルストイ)
- 〈日 本〉 『こころ』(1914, 夏目漱石)

試 験：レポートを課す。タイトル・テーマ等はその折りに指示する。

テキスト名：上記の作品を所持していない学生は、なるべく文庫本にて用意されたい。学内の購買部にも相当数用意してもらうので、購入されたい。

文 学 F	いの 井 上 正 篤 うえ まさ あつ	4 単 位
		1 ~ 4 年
		通 年

### 小説における“愛”の形態

“愛”は人間情念の核であり、“愛”の形態はまさに、人間の生の在り様そのものともいえる。ドイツ、フランス、ロシア、日本から、下記4篇の“愛”の名作をとりあげ、世界文学の視点から、鑑賞・考察する。

- 〈ドイツ〉 『若きウェルテルの悩み』(1774, ゲーテ)
- 〈フランス〉 『狭き門』(1909, ジイド)
- 〈ロシア〉 『初恋』(1860, ツルゲーネフ)
- 〈日 本〉 『それから』(1909, 夏目漱石)

試 験：レポートを課す。タイトル・テーマ等はその折りに指示する。

テキスト名：上記の作品を所持していない学生は、なるべく文庫本にて用意されたい。学内の購買部にも相当数用意してもらうので、購入されたい。

文 学 G	なかむら 中村	かなめ 要	4 単 位
			1 ~ 4 年
			通 年

フランス文学を中心に、文学の基本問題を考えてみたい。フランス文学の流れを概観した後、各文学作品の検討、および文学が扱って来た重要テーマを考察する。学生諸君の口答発表を要求する。

試験：レポート。または口答発表。

テキスト名：渡辺一夫・鈴木力衛『フランス文学案内』（岩波文庫）

文 学 H	さかののぶひこ 坂野信彦	4 単 位
		1 ~ 4 年
		通 年

文学概論。文学成立の基本的な諸問題について、毎時間テーマを設定して論じる。

前期は「百人一首」を資料としつつ、韻律の原理、和歌の本質、日本人の伝統的な美意識、言語と文学等について考える。

後期は『遠野物語』を資料としつつ、文学と科学、児童文学の成立、近代小説の成立等について考える。

試験：前・後期とも、記述式の筆記試験をおこなう。

テキスト名：島津忠夫訳注『百人一首』（角川書店）

柳田国男『遠野物語』（角川書店）

美 術 A・B	さ とう あき お 佐 藤 昭 夫	4 単 位
		1～4 年
		通 年

### 日本美術史概説

日本人がこの地に生をうけて以来伝えられてきた日本の美術は、海外のそれを受けとり、日本のフィルターを透したうえで消化しつづけてきた軌跡である。こうした日本美術をあどづけるとともに、その特質をたずねてみる。

今年度は天平時代、ほぼ8世紀について講ずる予定である。

試 験：随時ノートを提出。小論文の提出もある。試験は学年末に行う予定。

美 術 C	さ とう あき お 佐 藤 昭 夫	4 単 位
		1～4 年
		通 年

### 仏教美術へのアプローチ

「お釈迦さまはどうしてあんな姿・形をしているのか」「観音様は男か女か」

仏教が宗教中の大勢を占める日本に生まれながら、それを知る人は少ない。長い伝統に育てられた仏教美術、ひいては仏教に関する基本的な常識を、イコノグラフィー、造像技法、その作家たちといった面から説いてゆきたい。

試 験：随時ノートを提出。小論文の提出もある。試験は学年末に行う予定。

テキスト名：「仏像をみる人のために」

美 術 D	さ とう あき お 佐 藤 昭 夫	4 単 位
		1～4 年
		通 年

仏像のきた道—インドから日本まで—

遠い南アジアの地に仏教の偶像、つまり仏像が生まれて以来、遙かな道程と長い時間を経て、東アジアの一角の島国にたどりつくまで、その変遷、多くの民族の仏教のうけとめ方、他の宗教との関わり合いといった面に焦点を当てて、異文化交流の問題を考えてみたい。

試 験：随時ノートを提出。小論文の提出もある。試験は学年末に行う予定。

言 語 学 入 門 A	ふじ た とも こ 藤 田 知 子	4 単 位
		1～4 年
		通 年

日本語を素材として言語一般の問題を考える。私たちの母語である日本語は他の言語と比較してどのような特徴を備えているのだろうか。日本語をそうした角度から概観してみると、外国語を学ぶ者にとって、良い反省と刺激になるはずである。「入門」の授業なので、聴講は1～2年次位の早い時期にし、その後の興味に応じてより専門的な授業に臨んでほしい。言語を言語学的に観察し分析するための基本的な方法や発想を学びたい。

試 験：前後期末に各1回ずつ試験を行なう。

言語学入門 B	なか 中	しま 嶋	もと 幹	き 起	4 単 位
					1～4 年
					通 年

東アジアの言語を中心として、その多様性、各個別言語の特徴、それらの言語の歴史について概説する。

試 験：ペーパー・テストを最終時に実施する。

テキスト名：随時指示する。

言語学入門 C	なか 中	しま 嶋	もと 幹	き 起	4 単 位
					1～4 年
					通 年

満洲語の学習を通して、言語を考えることにしたいと思います。

満洲語とは、東アジアの東北部の民族で、その言語は、アルタイ諸語の一支派、ツングース語の一部です。満洲語の構造は、中国語や英語とは全く系統がちがひ、日本語に近い。

中国の清朝は、満洲族の建てた王朝であったので、その時代には、満洲語が第一の公用語でありました。清朝時代に満洲文字で書かれた書物を学習し、学生諸君にとって未知の言語を知るよろこびを伝えたいと思います。

試 験：最終時にペーパー・テストを実施します。

テキスト名： コピーを用意しています。

言語学入門 D・E	チョン 鄭	キ基	ソン 成	4 単 位
				1～4年
				通 年

前期には言語学における様々な分野について概観し、さらに分析的言語学の主要な基礎概念（例：構造、体系、統合的／連合的關係 etc）について具体例を見ながら解説する。後期では人間と言語という視点から幾つかの主要なトピックス（例：ことばの学習、ことばと情報、コミュニケーション、意味の問題、言語と認知、言語の起源 etc）について考えながら、主要な学説を紹介、解説する。

試 験：任意のテーマで年度末にレポート提出。

2) 社会

<b>社会学 A ・ B</b>	かとうじょうじ 加藤譲治	4 単位
		1～4年
		通年

この授業は社会学入門、社会学概論を意図するものである。社会的なモノの見方、考え方を学習し、理解することで、現代社会に対する洞察力・分析力を深めて欲しい。「社会的」考察には方法論的集合主義と方法論的個人主義の2つの立場があるが、両者を統合する視点を追求したい。「相互行為」「集団・組織」「生活構造・社会構造」「集合行動」「社会変動」の項目を扱う。

社会学を学ぶことの楽しさを学生諸君に伝えることに、意を注ぐつもりである。

試験：前期、後期とも試験を行う。

テキスト名：『社会学の展開』（佐藤慶幸・船津衛編著、北樹出版）

<b>社会学 C ・ D</b>	かとうじょうじ 加藤譲治	4 単位
		1～4年
		通年

現在の日本社会は「企業社会である」といっても過言ではなからう。良きにつけ悪きにつけ、企業論理が日本社会を主導している。この授業では社会学の立場から現代の日本企業社会の分析・検討を行う。産業社会学、労働社会学、経営社会学の分野に位置づけられる領域である。本年度は「日本的経営」のさまざまな問題を学生諸君と共に考えていく所存である。

試験：前期、後期とも試験を行う。

テキスト名：『経営社会学』（間宏著、有斐閣）

社会学 E・F	よし ざわ なつ こ 吉 澤 夏 子	4 単 位
		1～4 年
		通 年

社会学は、近代社会の成立とともに始まった。社会学は、近代という現象への問いだったからである。つまり社会学にとってもっとも本質的な問題は、「近代社会とは何か」（もちろん私たちが現に生きているこの社会も近代社会である）ということである。このような社会学の本来の性格を考慮して、この授業は、近代社会を特徴づけるようなさまざまな現象を実際に社会学的に説明する中で、社会学的なものの方をわかりやすく解説する。たとえば精神分析が近代に至ってはじめて成立したのはなぜか、フェミニズムが近代社会の中で現れ、また困難に直面しているのはなぜか、等の主題を扱う予定。

法 学 A・B	あお やま はる き 青 山 治 城	4 単 位
		1～4 年
		前 期

法学には、法哲学や法社会学等の基礎法学から諸実定法毎の法解釈学、国際法学まで広い範囲の学問領域が含まれ、現在では各々が独立し細分化している。そうした状況のなかで法学一般を講義するというのは至難の業となっている。したがって、本講義では法学全般についての網羅的概説ではなく、個々の現実問題に即して、その法的解決を志向する際に考慮すべき基本的論点がどのような所にあるかを適切に把握することを主眼としたい。と同時に法的思考の意義と限界を理解できるよう配慮していきたい。主体的参加を期待する。

試 験：受講人数によって、試験、レポート、演習形式の報告等、柔軟に対処していきたい。

テキスト名：「判例法学」西村・西井・初宿編（有斐閣）

政治学 A ・ B	ARIFIN BEY	4 単位
		1～4 年
		通 年

This course seeks to arouse the interest of students in political science and to plant an awareness of their role as eye-witness to history. The first semester covers Japanese domestic politics, while the second semester is devoted to international problems. Taking actual developments or “realpolitik” as a starting point, the lectures endeavor to explain the historical background as well as their theoretical-ideological underpinnings.

In explaining Japanese domestic politics, the triangular relationship between zaikai, political parties and bureaucracy is explained. The role of the mass media and the “battle of minds” between scholars are analyzed. The influence of Confucianism in Japanese political culture is also discussed. The historical background and orientations of political parties are explained.

In studying politics among nations, “power politics”, the roots and dimensions of post cold war as well as the role of international organizations, such as the United Nations, are given special attention. The role of “isms” and the tug-of-war between “globalism” “regionalism” and “nationalism” are analyzed. The meaning of the revival of religions is evaluated. The positive and negative side of “economic aid” is also discussed. (Lectures of similar contents are also given in Japanese)

※「政治学A」は日本語、「政治学B」は英語で授業を行なう。

試 験 : Tests are given several times.

Students are required to read at least one newspaper, collect and comment upon relevant articles.

テキスト名 : KISHIMOTO KOICHI Politics in Modern Japan: Development and Organization Japan ECHO Inc. Tokyo, 1988

経済学 A ・ B	なが お てる や 長 尾 昭 哉	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

1. 日本人が近代に経験した経済問題を、その時々状況から生まれたテキストを通じて勉強する。
2. 現代の経済分析を、そこで使われている記号処理の練習を通じて勉強する。
3. 経済学という学問がつくられたプロセスを、その時代に行われた議論を通じて勉強する。

試 験：年間5～6回の中間テストを行う。

テキスト名：教材コピー

経 済 学 C	なが お てる や 長 尾 昭 哉	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

「現代社会論」から「経済学」へ

試 験：年間5～6回の中間テストを行う。

テキスト名：飯田経夫、「豊かさとは何か」、「豊かさのあとに」（何れも講談社現代新書）

心 理 学 A ・ B ・ C	や べ ぶ 富 美 枝 矢 部 富美枝	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

人間を一種の情報処理システムと見なす認知心理学の観点から、環境から受け取った情報の処理・保存・利用、即ち感覚・知覚、記憶、思考の過程について概観する。

試 験：未定

テキスト名：大山正（編）「実験心理学」（東京大学出版会）

心 理 学 D ・ E	や べ ぶ 富 美 枝 矢 部 富美枝	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

社会心理学の入門であるが、個人間の関係や相互作用に関する領域を中心に概観する。

試 験：未定

テキスト名：大橋正夫・佐々木薫（編）「社会心理学を学ぶ」（有斐閣）

心 理 学 F	た はら しゅん じ 田 原 俊 司	4 単 位
		1 ~ 4 年
		通 年

本講義は、幼児の言語習得・発達を検討することを目的とする講義である。概論として言語習得・獲得（音韻・語彙・文法の発達）の基礎に言及した後、各論として、1）語彙の習得と二語発話との関係、2）象徴的機能の獲得と言語発達・獲得、3）言語諸機能の発達（コミュニケーション機能の発達、思考の発達、言語調整機能の発達）、4）言語習得・獲得の諸理論の検討（行動主義的言語習得理論、ピアジェの言語発達理論、ヴィゴツキーの思考と言語との関係、スローピニアンと言語獲得モデル、競合モデル、パラメーター・セッティングなど）を行う。

試 験：レポート試験を実施する。

心 理 学 G	た はら しゅん じ 田 原 俊 司	4 単 位
		1 ~ 4 年
		通 年

本講義は、臨床心理学の講義である。ロール・プレイ（役割演技）およびカウンセリング概論を中心に講義する。カウンセリング概論では、理論と実習の二つの部分を行う予定である。具体的な講義内容としては、1）カウンセリングテストの実施、2）来談者中心療法、ゲシュタルト療法、論理情動療法などカウンセリングの紹介、3）マイクロカウンセリングを中心とする技法の紹介と習得、4）深層面接、4）テーブ等によるカウンセリング場面の検討などを行う予定である。

試 験：レポート試験を実施する。

テキスト名：いじめ相談室——ベテラン教師からのメッセージ—— 田原俊司（編著） 1991  
（八千代出版）

教 育 学	ぬま の いち お 沼 野 一 男	2 単 位
		1 ~ 4 年
		前 期

「教育とは何か」という問いは、歴史上さまざまな形で答えられてきた。この授業では、それらの回答およびその根底にある子ども観を吟味し、さらに「人間に相応しい教育とは何か」という問いに答えることを試みる。

詳しい授業スケジュールは最初の時間に配布するが、授業はテキストによる自学と教室での質疑応答を重視するので、意欲のある学生の受講を希望する。

なお、教職課程の履修を予定している学生は、予めこの科目を受講しておくことが望ましい。

試 験：期末試験は行わない。

テキスト名：「村井実著作集 5」 小学館

文化人類学 A・B	たか くわ ふみ こ 高 桑 史 子	4 単 位
		1 ~ 4 年
		通 年

人間とは何か、人間は理解しあうことが可能なのか、知ることや理解することとはどういうことなのか。様々な文化や社会の存在を知ることによって自己自身つまり自己の属する文化＝社会を相対化し客体化する作業が必要である。本講義では家族や婚姻、信仰や世界観などの個別テーマをあつかい、文化（異文化のみならず自文化）の意味を考察し、文化人類学の存在意義についてふれてみたい。異なる慣習、価値体系を知ることによって我々自身をみつめていきたい。講義で随時紹介する参考図書をどんどん読み、知の世界へ入って行ってほしい。

試 験：未定

文化人類学 C・D	三田村 成孝 <small>みたむら しげ たか</small>	4 単位
		1～4 年
		通 年

文化人類学は人間の社会・文化を実証的に研究する学問であり、その方法として現地調査と比較文化法を用いている。現地調査による詳細な資料収集の上に比較法が行われるわけである。

講義ではこうした文化人類学の基本的概念の説明を、具体例に日本の場合も取り入れながら進めてゆく。特に文化人類学の一部門として民俗学という学問があり、日本の社会・文化についての蓄積が豊富になされている。その成果も積極的に取り入れて講義を進めてゆく。

参考書については、その都度に紹介してゆく。

試 験：講義内容について筆記試験をおこなう。

テキスト名：なし

憲 法 A	青山 治城 <small>あお やま はる き</small>	4 単位
		1～4 年
		前 期

近年、政治・行政改革をはじめ改憲論議のかけ声がしばしば聞かれるようになったが、その具体策の提言はあまりないように思われる。基本的な政治、行政機構を定めているのが憲法であるから、これらの問題は憲法と密接な関連をもつものである。本講義では、日本国憲法とその解釈・運用のどの辺に問題があるのか、を考えていきたい。その際、日本の国内問題だけでなく、広く世界（史）的観点に立って、日本国憲法のおかれている状況を把握しなければならぬであろう。自分達の身近なものとして問題を捉え、考える主体性を期待している。

試 験：本年は前期完結授業となるので、本試験は1回だけになるが、授業中の小テストも考えている。

テキスト名：「世界の憲法・日本の憲法」 中嶋一麿（オーエス出版）、六法

憲 法 B ・ C	いい だ 飯 田 み の る 稔	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

憲法とは、国家の統治組織や作用の基礎を定める法であり、わが国では、日本国憲法として具体化されている。だがそれは、決してわが国独自のものではない。むしろ、憲法自身も述べるように、「人類普遍の原理」に基づく。それゆえ、憲法を理解するためには、その歴史的思想的背景をも視野に入れることが必要となる。講義では、日本国憲法の規範内容を、近代立憲主義の大きな流れの中に位置づけつつ解説する。そのことを通じて、わが憲法のもつ意義と限界を明らかとするよう努めたい。

試 験：前期・後期それぞれに、少なくとも1度の試験を行なう。レポートの提出を求めることも有り得よう。

テキスト名：芦部信喜「国家と法Ⅰ 憲法」（日本放送出版協会）  
樋口陽一「もういちど憲法を読む」（岩波書店）  
六法（小さなものでよい）

3) 自然

生 物 学 A	寺 田 美奈子	4 単 位
		1 ~ 4 年
		通 年

我々は地球という宇宙の中でも稀にみる程の生命の存在条件にめぐまれた環境に生まれてきた。しかし近年この地球環境のバランスが人間活動によってくずれてきていることが明らかになってきた。生物学Aは、生物と環境とのかかわりあいをテーマに、講義を中心にビデオテープ、スライドを補助教材として話をすすめる。とりあげる主な項目は、

- ・環境条件と生物の生活との関係
- ・地球の自然環境との様々な生物の生活
- ・生態系の概念・その構造と機能
- ・地球環境問題（大気汚染・水質汚染・酸性雨・熱帯林破壊）

試 験：前期・後期にそれぞれ1回試験を行う。

生 物 学 B ・ C ・ D	寺 田 美奈子	4 単 位
		1 ~ 4 年
		通 年

本講は生物と環境とのかかわりあいをテーマに、観察や小さな実験を中心に授業をすすめる（通年）。前期は主にキャンパスのまわりの生物（植物が中心）を教材にして基本的構造、分類、分布のしかた等について観察実習を行う。後期は身近な環境について小規模な実験をとおして認識を深める。（70名限定）主な項目は、

1. 植物の構造（葉・茎・花・果実）
2. 植物の分類実習
3. キャンパスの植物の分布
4. 葛西臨海水族園見学（夏休み前後）
5. 簡単な統計実習
6. 樹木による大気汚染調査
7. キャンパス周辺の水質調査
8. 酸性雨は降っているか？

試 験：授業時に毎回レポートを提出してもらおう。出席を重視する。

生 物 学 E	てら だ みなこ 寺 田 美奈子	4 単 位
		1～4 年
		通 年

現在人類は地球上で空前の繁栄をほこっている生物といえるであろうが、これは生命誕生以来35億年の生物進化の過程でヒトが言語というコミュニケーション手段を獲得したことに多くを負っていることと無関係では無いであろう。本講は動物の進化の過程をコミュニケーションという観点からながめ、講義を中心に動物の行動に関するビデオテープを見ることによって話をすすめる。本年度は比較的高等な脊椎動物から話をはじめ近年研究の進んだ霊長類（サルの仲間）からヒトへの進化過程について紹介し、考察する。

試 験：前期はレポート。後期に全体についての試験を行う。

化 学	やま もと おさむ 山 本 修	4 単 位
		1～4 年
		通 年

衣食住は勿論のこと、我々を取り囲むすべての環境において、また月ロケットからコンピュータの開発まで多くの新素材が使用されているが、これらはすべて化学の世界であり、化学の発達に伴って我々の環境も刻々と変化している。本講では特に生活に密着した素材と化学現象を取り上げ、今後我々が現代社会に生活していく上で必要な化学知識を、原理的な観点から身につけてゆくようにしたい。

試 験：前期、後期に定期試験実施。

自然科学概論 A・B	徳 元 琴 代 とく もと こと よ	4 単 位
		1～4 年
		通 年

人類の歩みはその最初から自然とともにあり、我々の多くは宇宙のきらめく星に感動したり、大地の生命や現象に魅せられてきたはずである。ところが残念なことに自然科学や技術となると、とかく計算や暗記ばかりの難しいものと敬遠されがちである。21世紀をまもなくむかえる現在、自然科学や技術の発展は、人間の心や日常生活にますます深くかかわりをもつのみならず、国際関係や地球の存亡さえ左右するほどの存在になっている。この講義では、自然科学や技術の本来の姿を社会発展の中でとらえなおすことによって新たな視点を提示したい。

試 験：前期・後期2回のレポート提出によって評価する予定である。テーマは講義中に指示する。

テキスト名：『科学の歩み』藤村淳その他 東京教学社

情報処理 A・B・C	やま もと おさむ 山 本 修	4 単 位
		1～4 年
		通 年

現在は情報の時代といわれ、そのツールとして好むと好まざるとにかかわらずコンピュータが我々の日常生活の中に入り込んでいる。しかし多くの人々にとってコンピュータはいわゆるブラックボックスでしかない場合が多い。本講ではBASIC文法を修得しつつ情報処理一般についての基礎を概説し、コンピュータの世界のアーキテクチャについて包括的に理解できるようにしたい。

火曜日の3～4時限の授業は4年生を優先する。

試 験：前期、後期に定期試験実施。

情報処理 D・E	よこ 横 かわ 川 ひさえ	4 単位
		1～4 年
		通 年

現在コンピュータは日常生活のいろいろな場面で使われる道具となってきた。そのコンピュータがある程度使えることも当然のように期待されてくる。本講では、BASIC言語によるプログラミング実習を通してコンピュータの基礎的操作法の修得を目標とする。

できるだけ平易な解説と課題を出す、実際にコンピュータにふれないと身につかないので積極的に取り組まれることを希望する。

試 験：学期末に筆記とプログラミング実習のテストを実施する。

テキスト名：BASICによる情報処理入門 大西菊太郎著 ナカニシヤ出版

情報処理 F	やま 山 もと 本 おさむ 修	4 単位
		1～4 年
		通 年

情報処理技術はこれからの社会においては文科系の学生といえども身につけておいた方が好ましいとされている。しかし一応プログラミング技法を修得した学生でも、それを実際にどう生かすかに当惑している人が多いように思われる。本講においてはこのような人々を対象に実際のデータ処理等に関する易しい問題を取り上げ、コンピュータと実社会とのつながりについての理解を深めるようにしたい。

従って本講を受講する学生はBASIC文法、またはその他の何等かのコンピュータ言語について一応の理解をもっていることを条件とする。その上でC言語を履修しつつ、上記の問題に取り組みたい。

試 験：未定

4) 外国語

英 語 I ・ II	4 単 位
	1 ・ 2 年
	通 年

Non-English majors, i.e. those students majoring in Chinese, Korean, or Spanish, must take English during their first and second years at Kanda University. The students have two 90-minute classes of English per week. One of these classes focuses on reading/writing while the other emphasizes speaking/listening.

中 国 語 I	かわ 村 よし お 川 村 嘉 夫	4 単 位
		2 年
		通 年

生きた教材を通じて、中国語を「耳」で聞いてわかり、「口」から正しい音を発せられるように、できるだけ発音の習得につとめ、さらに基礎的な語彙、文法、表現などを学習してゆきたい。

試 験：前期と後期の末のほか中間に小テストを3－4回行う。

テキスト名：相原茂『中国語へのパスポート』朝日出版社

中 国 語 II	ダン イ 段 威 ロ ミン 盧 曉 敏	4 単 位
		3 年
		通 年

この授業は会話練習に重点を置き、会話の要領を体得することを目標とします。初級で学んだ基本事項を使って、スムーズに会話ができることを目指します。

試 験：別途指示します。

テキスト名：『中国語プレリユード』朝日出版社(段)  
『生活中国語決まり表現300』白帝社(盧)

ス ペ イ ン 語 I	4 単 位
	2 年
	通 年

初級用の文法と訳読を兼ねた教科書を使用してスペイン語の初歩から指導します。発音を重視し、単独で辞書を引いてスペイン文を理解できるぐらいの基礎知識を授けることを目的とします。なお出席は特に重要ですので欠かさないようにすること。

試 験：前期・後期の二回実施する。

テキスト名：（各先生の決定による）

ス ペ イ ン 語 II	4 単 位
	3 年
	通 年

初級で得た基礎知識を応用し、練習を重ねることに重点を置き、ある程度役に立つ語学力を身につけることを目標に学習活動を展開します。

試 験：前期・後期の二回実施する。

テキスト名：（各先生の決定による）

韓 国 語 I	と	さ	まさ	き	4 単 位	
	土	佐	昌	樹		2 年
	ナ		ソン	スク		通 年
	羅		聖	淑		

韓国語と日本語は良く似ていると言われます。確かに、皆さんが英語で苦しんだ語順には、もう苦しまないでしょう。そして韓国で使われる漢字語が日本と同様なので、うれしくなる時もあるでしょう。このような類似点も多いのですが、相違する点も少なくありません。おそらく、当初、韓国語の発音や文法などに、とまどうでしょう。しかし、韓国語を学ぶうちに、発音の美しさや文法体系の見事さに感動するにちがいありません。韓国語の面白さを知ること、隣国である韓国に対する理解が深まることを期待します。

なお、韓国の風土・自然のみならず歴史や文化などにも関心に向けて下されば、もっと韓国語を面白く学べるでしょう。

韓 国 語 II	はま	なか	のぼる	4 単 位	
	濱	中	昇		3 年
	ナ		スク		通 年
	羅	ソン	聖	淑	

韓国語 I で学習した基礎の上に、日常の会話能力と文章の読解力を養う。

試 験：原則として、前期および後期の、それぞれ最後の授業において行なう予定です。

テキスト名：未定。追って指示する。

フ ラ ン ス 語 I	ふじた 藤田	ともこ 知子	せんば 仙波	じゅんこ 純子	4 単 位
	なかむら 中村	かなめ 要			2 年
					通 年

二人の教師が同じ一つの教科書を用いて授業を行なう。一年目でフランス語の発音と文法の基礎をひと通り学ぶ。未習の言語であるから、毎週の授業には必ず出席してほしい。生きた言葉としてフランス語を学んでほしい。

一年目の終了時にはフランス語検定（仏検）4級合格の実力をつけてほしいし、それは十分可能である。

試 験：数課終るごとに試験するが、前・後期末の2回の試験が一番重要である。

テキスト名：藤田他「東京・パリ初飛行」 駿河台出版社

フ ラ ン ス 語 II	ふじた 藤田	ともこ 知子	せんば 仙波	じゅんこ 純子	4 単 位
	なかむら 中村	かなめ 要			3 年
					通 年

一年目の授業の続きとして、発音と文法の仕上げ、および、読解力・表現力の向上を目指す。二年目の終りにはフランス語検定（仏検）3級合格を目指してほしい。

試 験：未定

ド イ ツ 語 I	しがなみ ゆう こ 志賀浪 優 子	4 単 位
		2 年
		通 年

辞書の使い方指導を中心に文法、作文、ヒアリング、発音と万遍無く基礎を築きたい。同時に英米語学科学生の第二外国語であることから、英語との比較、さらに日本語との比較を通して、ドイツ語の思考構成が親戚関係にある英語よりもむしろ日本語に似ている事を一緒に考えてみたい。英語に接触することで新しい世界が開けたように、ドイツ語に接触することでもう一つ別の世界、別の視点が開けることを期待する。

試 験：前・後期定期試験と小テスト。

テキスト名：①「最新基本ドイツ語文法」中埜芳之他（三修社）

②「ドイツ文法 おもちゃ箱」関口一郎監修（朝日出版社）

ド イ ツ 語 II	あか ざわ もと む 赤 沢 元 務 にしむら 西村 スザンネ	4 単 位
		3 年
		通 年

エッセイ、書簡、論文、小説等様々なジャンルの文章を、しかもかなり多く読むことによって、より一層ドイツ語の表現に慣れ、文法の知識も深めてもらいたいと考えている。

主眼は読解力の涵養にあるが、読み以外のドイツ語運用能力の養成にも可能なかぎり時間を割きたい。(赤沢)

試 験：前・後期の2回、具体的実施方法は未定。(赤沢)

テキスト名：学生のための新しいドイツ語〔中級編〕三修社

二年次で修得したドイツ語文法を活用し、基本的な日常会話を実践する新鮮な授業をしたい。積極的な会話の機会を増やすとともに、聞き取り（ヒアリング）の練習、簡単な作文も行う。あわせて各文化の相互理解を深めるようにする。(西村)

試 験：積極的な授業への参加、独語の理解進度を確認する試験、作文を行う。(西村)

テキスト名：コミュニケーションのためのドイツ語 関口一郎 三修社

ロシア語Ⅰ	くる だ りゅうの すけ 黒 田 龍之助	4 単 位
		2 年
		通 年

初級文法を習得することを目標とします。ロシア語はまずその独特な文字を身につけることが大切ですから、初めの2カ月ぐらいは特にながらんでください。

試 験：年2回筆記試験。その他授業中に小テスト。

テキスト名：「生きたロシア語入門」米重文樹（白水社）

ロシア語Ⅱ	くる だ りゅうの すけ 黒 田 龍之助	4 単 位
		3 年
		通 年

2年目の授業なので本来ならばすぐに講読に入りたいのですが、あわせて、まずは入門用のテキストをスピード・アップして仕上げることから始めます。

試 験：年2回筆記試験。その他授業中に小テスト。

テキスト名：「ロシア語初級クラス」佐藤純一（白水社）

イ タ リ ア 語 I	あき 秋 やま 山 よ 余 し 思	4 単 位
		2 年
		通 年

会話体の文章を読みながらイタリア語の「読み、書き、話し、聞く」能力を養うのに最少限度必要な基礎文法の習得を目指す。(テキスト以外に、必要に応じて練習問題をプリントして用意する)

試 験：前期と後期の2度試験(筆記)を行う。

テキスト名：パッソ・ア・パッソ(白水社)

5) 保健体育

保 健 理 論	なか その しん じ 中 蘭 伸 二	1 単 位
		2 年
		前期・後期

現在、エイズは、日本においても極めて重要な健康問題となっており、本年は、エイズを中心に講義を進めていきたい。エイズの意味、病原体、感染原因、感染者・患者数、症状、治療の現状などについて学んでいく。さらに、感染者・患者の人権についても共に考えていきたい。

その他、健康・死とは何か、子どもの重要な疾病、成人・老人の重要な疾病、運動と健康、労働保健、地球的規模での環境保健、医療・福祉などを、現代社会との関連及び健康権などの視点からの分析も踏まえて扱う予定である。

試 験：成績は、講義時間内の最終日に実施する試験、レポート、出席で総合的に評価したい。

テキスト名：田邊信太郎、他『高齢化社会の健康と教育』高文堂出版社、1992  
中川英一『成育保健』高文堂出版社、1992

体 育 理 論	とみ まつ きょう いち 富 裕 京 一	1 単 位
		2 年
		前期・後期

体育、スポーツ等の身体運動は人類が永年に渡って構築した文化であり、今日、私たちは様々な形でこれらの運動を継承し、発展させている。しかし、体育・スポーツの未来を考えると、その現状を的確に把握する必要があり、そのために学習すべきことがここに存在する。本講義は上記の点を配慮し、次の3点を主な内容とする。①体育・スポーツが歩んだ歴史をヨーロッパ中心に概観する。②身体運動文化の視点に立ち社会構造や政策との関係を概観する。③sport for all運動とスポーツの権利認識の経過を概観する。

試 験：講義内容に応じた試験とレポート作成で評価する。

テキスト名：指定はしないが、ぜひ読んでもらいたい本は講義前にリストアップしたものを渡す。

体 育 実 技	とみ まつ きょう いち 富 松 京 一	2 単 位
		1～4 年
		—

現代の体育・スポーツは二極化傾向にあり、一方が競技化されたものであり、他方が“健康”や“生涯スポーツ”といった大衆化されたものである。本科目は後者の視点に立つ。体育実技は開設されたスポーツ種目より年間で2種目、卒業までに4種目の選択履修である。開設スポーツ種目は下記のとおりである。

《野外活動種目》オリエンテーリング、サイクリング、登山&キャンプ、カヌー、スキー。

《一般スポーツ種目》バレーボール、バスケットボール、フットボール、卓球、テニス、バドミントン、ソフトボール。

《フィットネス&トレーニング》

試 験：評価は出席状況、実技内容、レポート作成等を主体にする。

## 〔 2 〕 専門教育科目

## 1) 基礎教育科目(各科共通)

日本近代思想史 A・B	やま 山 領 健 二	4 単 位
		2 ～ 4 年
		通 年

1931年から1945年にかけての「戦時期」の思想をどう考えるかは、近代日本史研究上の重要な争点の一つである。この「戦時期」の思想についてテキストを中心として学びながら、近代日本の思想史全体を考える糸口を見つけたい。なお、テキストは同一だが講義内容は昨年とは異なるものを予定する。基礎的学習のために、この分野の書物を読んでの批評を含むレポートの提出をできるだけ数多く課す。

試 験：レポートおよび試験により、評価する。

テキスト：鶴見俊輔著『戦時期日本の精神史』（同時代ライブラリー82）岩波書店

日本倫理思想史 A	くぼ 窪 田 高 明	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

日本倫理思想史は、日本人が生きることをどのように考えてきたかを学ぶ学問である。現在の日本人は、自分たちが「合理的な」判断によって生きていると思いがちである。しかし、我々の判断は文化伝統に支えられて決定されている。現在は一つの断面であり、それを正しく理解するためには、その歴史的背景を踏まえて立体的に把握することが必要である。身近な問題を取り上げながら、体系的な思想についても必要最低限の知識が獲得できるよう配慮したい。

試 験：学年末に試験を行う。

テキスト名：日本思想史入門（ペリカン社）

日本倫理思想史 B・C・D	とお 遠	やま 山	あつし 敦	4 単位
				1～4 年
				通 年

本講は近世を中心としつつ日本倫理思想史を幅広い視点から概観することを目的とする。

具体的には『葉隠』・鈴木正三・伊藤仁斎・荻生徂徠・本居宣長を中心に扱うが、それらと関連づけながら、文芸や武士の思想、儒教・仏教・神道（国学）のそれぞれの思想的伝統に関する基本知識についても触れていきたい。

試 験：前期末・後期末に各一回の定期試験の実施を予定している。

テキスト名：『日本思想史入門』相良 亨編 ベリかん社

日本倫理思想史 E・F	くぼ 窪	た 田	こう 高	めい 明	4 単位
					1～4 年
					E前期・F後期

講義内容は、基本的に日本倫理思想史Aと同一であるので、そちらを参照すること。ただし、こちらは半期完結で講義を行う。なお、参考のために申し添えると、一年生が前期に履修することはもちろんかまわないが、昨年の経験では通年の講義か、後期の半期完結講義を履修するほうが良いように思う。

試 験：学期末に試験を行う。

テキスト名：日本思想史入門（ベリかん社）

日本の宗教 A・B	うす い あつ こ 薄 井 篤 子	4 単 位
		1～4 年
		通 年

近代に出現した一群の宗教である新宗教は、すでに1世紀半以上にわたる歴史を持つ。それは日本の近代化と深い関わりを持ちながら、今日なお多様な活動を展開している現象である。

本講義では、宗教を1つの社会的・文化的装置として捉え、新宗教は近代日本における1つの特徴ある宗教装置であり、文化の特性を示すものとして取り扱う。新宗教の多様な姿や社会的背景を取り上げつつ、その全体としての特質を考察する。

参考書・文献は適宜教室で指示する。

試 験：講義の内容の中からいくつかのテーマを提示するので、その中から選択したもののについてまとめる。

日本芸能史 A・B	いけ た こう いち 池 田 弘 一	4 単 位
		1～4 年
		通 年

“仮名手本忠臣蔵”を素材として、浄瑠璃・歌舞伎を中心に、日本の伝統芸能の特質を考察する。テキストによる文字面からの学習にとどまることなく、実際の舞台を見、演奏を聞き、さらには実技の一面にもふれるような体験的学習を要求する。テキスト本文の書写の提出を5回求めるほか、指定した舞台の観劇を義務づける。したがって時間と労力を必要とする講座であることを十分理解のうえ受講してほしい。多くのことを知ってほしいという願いから欠席・遅刻に厳しく、10回以上の欠席者には単位を認めない。受講姿勢についても厳しい態度でのぞむ。

試 験：観劇報告と忠臣蔵研究の論文によって評価する。論文については30枚程度の論述を求める。

テキスト名：仮名手本忠臣蔵 笠間書院

日 本 語 学 基 礎 A	おお しま いち ろう 大 島 一 郎	4 単 位
		1 ~ 4 年
		通 年

### 現代日本語の実態研究

現代日本語の実態を、諸方言の様相としてとらえる立場から解明する。すなわちこの様相は、日本語の歴史の変遷を反映し現代語として生きていると言える。方言と共通語の関連をふまえ、われわれ自身の日本語について内省し、科学的に観察・究明することは大切である。このような視点から、具体的な例を示しつつ講述していきたい。

試 験：学年末に1回実施。

テキスト名：『日本の方言』（平山輝男著・講談社）

日 本 語 学 基 礎 B	いの うえ まさる 井 上 優	4 単 位
		1 ~ 4 年
		通 年

本講義では、

- (1) 「現代日本語の文法と意味」に関する問題にはどのようなものがあるか？
- (2) その問題に対してはどのようなアプローチが可能か？

ということ、身近な言語現象に即して具体的に考える。受講者も、現代日本語と専攻言語の類似点と相違点について具体的に考えてもらいたい。質問は大いに歓迎する。参考図書は講義の中で随時指示する。

試 験：試験は主に講義内容及び参考図書から出題する。

テキスト名：特にテキストなし

日 本 語 学 基 礎 C	いわもと え のく 岩 本 遠 億	4 単 位
		1～4 年
		通 年

日本語の文法構造を世界の他の言語の文法構造と比較して概説する。まず、構文論の基本的概念を導入し、次に、トピック別に日本語と他の言語を比較対照していく。

主なトピックは、語順、文法関係、形態論、空間表現、使役・受身表現等である。全体を通して、意味と統語構造の対応に、言語間でどのような相違と共通性があるのか考察することを通し、日本語の世界の言語の中での位置づけを考えてみたい。

受講者は、言語学入門又は各国語学概論の既習者に限る。

試 験：前期と後期の終わりにテストを行なう。

日 本 文 化 論	とら お とし や 厩 尾 俊 哉	4 単 位
		1～4 年
		通 年

日本文化の特質を理解するためには、先ずその形成発展のあとを、特に東アジアの文化の流れの中に位置づけて、歴史的に考察することが必要である。所謂日本文化論として世に行われているものの中には、この歴史的考察に欠けるものが少なくない。

そこで本講では、日本文化史の流れを把握することに重点を置き、その中から自ずと日本文化の特質についての理解を身につけることを目指す。

試 験：ノート提出（手書き、前・後期各1回）と学年末のペーパーテストを併せて評価する。

テキスト名：Chronology of Japan ed. T.TORAO & D.M.BROWN

（ビー・アイ・アイ／洋販）

コミュニケーション論A	ふる 古 た 田 ぎょう 暁	4 単位
		1～4 年
		通 年

人間のコミュニケーション現象の根元にあるものは何なのかを考える。人間であるということをもととして、環境との対応、人間にとってオープンな選択とその危険、意識とその構造、解釈された「世界」の体験と受容、記号と意味、コンテキスト、コミュニケーション・モデルなどのテーマをとりあげる。受講者は、二年生以上の者に限る。

試 験：未定

コミュニケーション論B	く 久 め 米 てる 昭 ゆき 元	4 単位
		1～4 年
		通 年

人間の社会生活の中で通常意識することは少なくとも不可欠な役割を果たしているコミュニケーションに焦点を当て、その過程と機能についてマイクロ（対人）からマクロ（マス・メディア）のレベルまで順を追って講義する。それと併行して、今年度は特に以下のようなテーマについても講義したい。「誤解は何故起こる」「説得のコミュニケーション」「倫理とコミュニケーション」「非言語コミュニケーション」など。クラスでの討論とレポートを重視する。

試 験：前期、後期各1回。その他レポート及びグループ・プレゼンテーション

テキスト名：①石井 敏、橋本満弘 編 『コミュニケーション論入門』 桐原書店

②ウィリアム ハウエル、久米昭元 『感性のコミュニケーション』 大修館書店

コミュニケーション論C	ひら 井 一 弘 い かづ ひろ	4 単位
		1～4年
		通 年

講義の概要は以下の通りです。詳細は第1回の授業時に指示します。

- I. コミュニケーションとは何か
  - A. 個人 B. 環境 C. ネットワーク
- II. コミュニケーションを研究するとはどういうことか
  - A. 個人的 B. 社会的
- III. コミュニケーションはどう研究されているか
  - A. 個人 B. コンテキスト C. 社会システム
- IV. コミュニケーションと社会
  - A. アメリカ社会 B. 日本社会
- V. 近代社会とコミュニケーション
  - A. 西欧 B. 日本

試 験：教室で指示する。

テキスト名：橋本満弘・石井 敏著「コミュニケーション論入門」桐原書店

コミュニケーション論D	おか べ ろう いち 岡 部 朗 一	4 単位
		1～4年
		集中講義

最初の2・3回の講義でコミュニケーションの基礎概念を論じ、その後は個人内 (intra-personal), 対人 (interpersonal), 小集団 (small group), 公的 (レトリック的) (public), マス (mass), 異文化 (intercultural) という各々のコミュニケーション・レベルに従って、その基礎理論を主に講義の形で検討する。6日間の集中授業であるので、初日から必ずテキストを持参すること。多数の英文資料を使用する予定である。

試 験：筆記試験の形で、集中講義の3日目と6日目の最終授業時間にそれぞれ定期試験をおこなう。

テキスト名：石井敏他『異文化コミュニケーション』（東京：有斐閣）；岡部朗一『異文化を読む』（東京：南雲堂）

異文化コミュニケーション論A	ふる 古	た 田	ぎょう 暁	4 単位
				2～4 年
				通 年

人間にとって、「世界」体験は必然的に文化的体験であって、コミュニケーションもそのような文化現象の一つである。このコミュニケーションが基本的に異なる「世界」体験を持つ人たちとの間で起こる場合に、どのような問題が生じるのか。

試 験：未定

テキスト名：「異文化コミュニケーション」(有斐閣)

異文化コミュニケーション論B	く 久	め 米	てる 昭	ゆき 元	4 単位
					2～4 年
					通 年

文化とコミュニケーションという二つの基本概念を軸に異文化コミュニケーションとは何かを様々な角度から考察する。講義では対人コミュニケーションに影響を及ぼす様々な文化的要因(例：言語・非言語メッセージや思考様式等)について概説する。後半には異文化間の接触・交流で起きている誤解や摩擦現象などの理解を深めるため、事例研究(例：日米交渉、青年海外協力隊隊員、外国人選手等)を通して考察する。クラスでの討議に積極的に参加する学生を歓迎する。

試 験：前期、後期各1回

その他後期にプレゼンテーション1回、レポート1回

テキスト名：①古田 暁 監修 『異文化コミュニケーション』 有斐閣

②古田 暁 監修 『異文化コミュニケーションキーワード』 有斐閣

指定図書名：岡部朗一『異文化を読む』南雲堂

エドワード・スチュワート『アメリカ人の思考法』創元社

異文化コミュニケーション論C	あら き しょう こ 荒 木 晶 子	4 単 位
		2～4 年
		通 年

日本の国際化にともない、諸外国の人々との接触の場は、ますます増えてきています。同じ文化を共有しないこれらの外国の人々を理解し、円滑なコミュニケーションをするには、どうしたらいいのでしょうか。

このクラスでは、まずコミュニケーションのメカニズムを理解してもらい、「人間関係のプロセス」としてのコミュニケーションに焦点をおいてクラスを進めていきます。異なった文化圏から来たもの同志が、コミュニケーションをするときに無意識におかしてしまう様々な問題点や認識ギャップを取り上げ、我々のコミュニケーション行動に深く関わっている文化的な要因を解明していきます。

テキスト名：異文化を読む（岡部朗一・南雲堂）・甘えの構造（土居健雄）  
文化を越えて（エドワードT. ホール）

異文化コミュニケーション論D	は せがわ のり こ 長谷川 典 子	4 単 位
		2～4 年
		通 年

当講座は、異文化との関わり合いが急速に緊密化している今日の状況のもと、受講生一人一人がよりよき異文化コミュニケーターとなれるよう、様々な角度から知的刺激を与えることを目標とする。具体的には講義の前半で、価値観、パーセプション、ステレオタイプ等、異文化コミュニケーションに関わる諸概念を理解し、我々の持つ言語・非言語のコミュニケーションパターンにそれらがどのように影響を与えているかを考える。後半は具体的な異文化摩擦の例や文化適応などの諸問題を概説し、文化的要因が現実生活に於てどのように関わっているかを考察する。受講生の諸君には積極的な授業への参加を希望する。

試 験：前期1回、後期1回の計2回試験を行う。  
その他、夏期レポートの提出を義務づける。

テキスト名：①古田暁監修『異文化コミュニケーション』有斐閣  
②古田暁監修『異文化コミュニケーション・キーワード』有斐閣

異文化コミュニケーション論E	ひら い かづ ひろ 平 井 一 弘	4 単 位
		2～4 年
		通 年

異文化コミュニケーションとは、文化的背景を異にする複数の人間がコミュニケーションにたずさわる時に何がおこるかを研究し、またどのようにしたらそのようなコミュニケーションを上手に行なえるかを研究する分野である。

研究の方向は文化に重点を置く考え方と、コミュニケーションのプロセスに重点を置く考え方の二つに大別されよう。授業では双方を取り扱う。

試 験：前・後期にそれぞれ1本の論文を提出する。

テキスト名：「異文化コミュニケーション」古田 暁監修 石井 敏他著 有斐閣

「異文化コミュニケーション・キーワード」古田 暁監修 平井一弘他著

有斐閣

異文化コミュニケーション論F	シヘイラ ラムジヘイ SHEILA RAMSEY	4 単 位
		2～4 年
		後 期

In this course students will explore the basic processes affecting interpersonal interaction between people from different cultures—for example, : stereotyping, perception, prejudice, self-fulfilling prophecy, ethnocentrism and attribution. We will explore factors which contribute to effective intercultural communication through studying such topics as : Communication style, nonverbal behavior, learning style, patterns of thinking.

Emphasis is on comparison and contrast, theory and application and exploration of self as a cultural being.

試 験：Evaluation will be mainly based on the research project, short quizzes, participation and attendance.

テキスト名：To be selected.

組織コミュニケーション論A・B	なが お てる や 長 尾 昭 哉	4 単位
		2～4年
		通 年

組織コミュニケーション理論の確立をめざして、多様な出発点から多様な研究が進められている。この講義はそれらのうちのいくつかを紹介する。

注意：教材として英文のものを多く用いるので、或る程度英語の読解力があることが望ましい。

試 験：年間5～6回の中間テストを行う。

テキスト名：教材コピー

組織コミュニケーション論C	く め てる ゆき 久 米 昭 元	4 単位
		2～4年
		通 年

「組織があって人がいる」のではなく、「人が集まって組織を作る」という立場で、人と集団、人と組織、人と社会とのかかわりを考える。今年度は特に次のような3つのテーマを中心に比較文化的な視点から講義を進める予定である。「情報はいかに得られ、浸透するのか」、「ものごとはどのようにして決まるのか」、「ものごとはどのように実行されるのか」。これらについて、小集団によるグループ討議と現実の組織や集団へのフィールド・ワーク（調査研究）を通して考察を深めたい。クラスに積極的に参加し、時間のかかる調査を独自に行う意欲のある受講生を歓迎する。

試 験：前期、後期各1回  
その他レポート前期、後期各1回

テキスト名：未定

参考書名：狩俣正雄『組織のコミュニケーション論』中央経済社

メディア・ コミュニケーション論A・B	たけ 武 いち 市 ひで 英 お 雄	4 単位
		1～4年
		通年

人は目で見える外在的な世界と文字や記号などをもとに頭の中で組み立てられた内在的な世界の二つの世界の中に生きている。とくに後者はメディアを通して伝えられる疑似的な環境である。人は情報の入手に、メディアを通したコミュニケーションに依存しているが、人はメディアに対して受け身でなく主体的な姿勢で接することが大切。そのためにはまず私たちはメディアによるコミュニケーションの特徴を理解する必要がある。そこで本講ではニュース、ジャーナリズム、新聞などの特性を考察する。と同時に日本の報道を比較、分析してみる。

試験：試験は論述式で最終授業に行う予定。試験以外に書評ほかの提出物が課せられ、これらを総合評価する。

メディア・ コミュニケーション論C	み 御 どう 堂 おか 岡	き ま よ し 潔	4 単位
			1～4年
			集中講義

国際化の進展が著しい今、日本・日本人が諸外国からどのように見られているか、そして日本人は諸外国をどのように見ているかは、重要な問題である。そこには、しばしば偏見やステレオタイプが生じていて、滑らかな相互関係を阻害している。講義前半では、国家・国民間の相互イメージの実態とその研究法を紹介する。後半は、その主な形成因としてマスメディアと教育を取りあげ、直接接点とも比較しながら論じる。

参考文献リストは開講時にプリントで示す。随時、プリント配布、ビデオ視聴をおこなう。

試験：未定

国際ビジネス・ コミュニケーション論	シ-ラ ラムジ- SHEILA RAMSEY	4 単位
		1～4 年
		後 期

In this course we will examine ways in which culture affects interaction in business settings. For example, we will focus upon attitudes toward work, leadership style, team building, negotiating, conflict resolution, evaluation and appraisal, and career development. Students will do field work and give reports on the results of their work.

試 験 : Evaluation will be mainly based on the field work, short quizzes, participation and attendance.

テキスト名 : To be selected.

比 較 文 明 論	こう やま し ろう 神 山 四 郎	4 単位
		1～4 年
		通 年

比較文明論は第一次世界大戦後とベレストロイカ以後急速に発達した新しい学問である。その研究領域はきわめて広く、理論や方法はまだ学際的論議のさなかにあるが、今日のグローバルな国際社会における有効な一つの総合科学である。

講義はまず「文化と文明の意味」「比較文明の成立」「文明の通時性と共時性」といった基本的な問題から始めて、「文明の形成における挑戦と応戦」「自然と文明」「人類の共時的精神文明」など、比較文明の固有の問題を学ぶ。そのあと「生態学的に見たユーラシア大陸の文明パターン」「その観点から見た日本史と西欧史の並行形態」「世界システム論と文明」など、現代の諸問題を取りあげる。

履修は2年次以上の学生が望ましい。

試 験 : 定期試験 (年1回) 以外にレポートを書かせることもある。出席重視。

<b>東南アジアの宗教と文化</b> <b>A・B・C</b>	アリフィン ベイ ARIFIN BEY	4 単位
		1～4年
		通 年

This course tries to impress upon and seek the understanding of the students about the following three developments.

1. The world, thanks to science and technology, is moving rapidly towards globalism. At the same time, mankind is entering an era of multi-culturalism.
2. The dimension of "culture" as Japan interprets it, is fundamentally different from that as understood by the West as well as the countries of Southeast Asia. Japan tends to separate "culture" from religion, while in many parts of the world, religion constitutes the bedrock of culture. Hence, the understanding of the religions of Southeast Asia provides an important key to understanding the mind of Southeast Asians. Culturally speaking, Southeast Asia is a major crossroad area, a meeting place of Hinduism, Buddhism, Confucianism, Christianity and Islam.
3. Expanding relationship between Japan and Southeast Asia-even in the economic sectors-requires better understanding of the cultural values of the various countries in that area. Only then the so-called "bunka masatsu" can be prevented.

This course also deals with the political, economic and cultural history of Southeast Asian nations and compare them with the experiences of Japan.  
 (The same lectures are given also in Japanese)

※「東南アジアの宗教と文化A」は日本語、「東南アジアの宗教と文化B」は英語で、「東南アジア宗教と文化C」は英語と日本語で授業を行う。

試 験 : Tests are given several times.

Students are required to read at least one newspaper, collect and comment upon relevant articles.

国際経済概論 A	たか 高	なし 梨	かず 和	ひろ 紘	4 単位
					2～4 年
					通 年

今日、各国経済の相互依存関係はますます緊密の度を増している。商品の動きである貿易、資金の動きである国際投資や援助、情報の動きである技術移転など、どの側面においても各国相互間にはより深い経済関係が形成されつつある。こうした現象は米国、EC、日本についてばかりでなく、最近ではNIESをはじめとする発展途上国、さらにはソ連、東欧を含むより広い範囲に見られるようになった。そうした動きの中で、とりわけ発展途上諸国は国際経済の動きを左右するまでに、その影響力を増してきている。そこで本講義では、第二次大戦以後の国際経済全般の動向を概観した後、とくに発展途上国に注目し、その対外経済活動と背後にある国内経済の諸問題を扱いたい。

試 験：講義内容の理解度と、それを踏まえ現実の国際経済問題に独自の評価を加えられるか考査する。ノートの持込可。

テキスト名：特定のものはない。講義時にアナウンスする予定です。

国際経済概論 B	うち 内	だ 田	しげ 茂	お 男	4 単位
					2～4 年
					通 年

冷戦体制の終結で、世界経済は歴史的な転換点を迎えている。旧ソ連・東欧諸国は苦しみながらも市場経済圏への仲間入りを目指し、中国も「社会主義市場経済化」の道を着実に歩み始めている。先進各国はというと、スーパーパワー、アメリカの衰退で、地域ブロック化への傾斜を強め、GATTを基軸とした自由貿易主義は危機に瀕している。こうした大きな流れの変化に日本はどう対応するのか。日本経済とのかかわりを軸にして、いま世界になにが起こっているか、を新聞記者の視点で整理してみたい。教えるというより、一緒に考えるということになろう。

試 験：前、後期1回ずつ。小論文形式。

テキスト名：適宜授業でいきます。

国際機構概論	きむら 木村	まこと 實	4 単位
			3～4 年
			通 年

現代の国際社会は、相互依存の強まりにともない、国家相互間の利益調整に留まらず、積極的に国際公益の実現をめざす方向での組織化が進んでいる。他面、国家・民族の自己意識はこれまで以上にたかまっている。

この講義では、国家間関係についての基本的問題とともに、国際連合をはじめとする諸国際組織のしくみと現状を理解することをめざす。

試 験：筆記試験及びレポート

国際法概論 A・B	きむら 木村	まこと 實	4 単位
			2～4 年
			通 年

国家間の関係を規律する法である国際法についての概説。

国際法の妥当基盤である国際社会は今日激動の時代を迎えている。今後の国際関係の動向、その中で日本の果たす役割を考えるためには、こうした状況を国際社会の歴史に照らして相対化する必要がある。

この講義では国際法の誕生の歴史的背景を探り、その歴史的な性格を把握することから始め、個々の領域の国際法規則についてもそれぞれの成立・変遷の過程に注目しながら、現代国際法の特徴および今後の課題についての理解に努める。

(なお、国際組織法の分野については、国際機構概論にゆずる。)

試 験：定期試験(年1回)

テキスト名：小田滋ほか編『現代国際法』有斐閣

国際法概論 C	小 森 光 夫 こ もり てる お	4 単 位
		2～4 年
		通 年

国際法上の主要問題である、法源論、管轄権論、領域論について具体的問題に言及しながら講述する。その上でGATTなどの国際経済秩序形成、PKOなどの安全保障秩序の形成などの特性を取扱う予定である。

試 験：後期にまとめて行なう。

テキスト名：藤田久一編 現代国際法入門（法律文化社）

民族と文化 I A・B	内 藤 操 ない どう みさお	4 単 位
		1～4 年
		通 年

ソ連という国があったときも、それが消滅した今も、講義のタイトルに変わりはなく「ロシアの文化」なのである。これが日本の大学では稀有稀少であることをもっとよく説くためにも、今年は「ロシア文化のなかのソ連」について講義する。

試 験：レポート方式。400字詰原稿用紙10枚程度。

テキスト名：出来合いのテキストなどあるはずもないから、その都度必要資料のプリントを用意する。

民族と文化Ⅱ A・B	なか	むら	きみ	のり	4 単位
	中	村	公	則	1～4年
					通年

イスラーム圏の民族と文化について講義する。今日イスラーム圏は、モロッコから中国の新疆、東南アジアのマレーシアやインドネシアにまで広がっている。これらの地域の諸民族と文化の在り様を総合的に論ずる。

教科書以外にも必要な参考書は講義の中で指摘する。

試験：年末に一回持込可の試験を行う。

テキスト名：本田實信著「イスラム世界の発展」（講談社）

英語総合講座 I	12 単位
	1 年
	通 年

The First Year English Proficiency Course consists of twelve 45-minute meetings per week. Each class will consist of approximately thirty students.

The course will provide students with intensive instruction and practice in the use of English. Emphasis will be placed on active and interactive learning in the classroom. Students will learn to communicate successfully, in both spoken and written English.

All classes will be conducted in English.

英 語 綜 合 講 座 Ⅱ	12 單 位
	2 年
	通 年

The Second Year English Proficiency Course Consists of twelve 45-minute meetings per week and it is subdivided to four major components, i. e. SogoA, SogoB, Intensive Reading and Extensive Reading sections.

#### Second Year Sogo A

The Sogo A component of the curriculum is an integrated course (listening, speaking, reading, writing) which emphasizes newspaper reading. In this class the students learn strategies for reading newspapers. They also prepare spoken and written reports on current events. Emphasis is especially placed on the development of writing skills, such as summarizing, comparison and contrast compositions, and the expression of personal opinion on issues in the news.

#### Second Year Sogo B

The Sogo B component of the curriculum, while integrating the four skills of reading, writing, speaking, and listening, particularly uses aural sources of information to which the students react and interact. While much of the class time is taken up with listening and speaking activities, writing should also be included as a regular feature of the course, perhaps in the form of a regular written assignment, essay, journal, or written summary of what was discussed in group or paired activities.

#### Second Year Intensive Reading

The focus is on the analysis of short English texts word study, and vocabulary development. Students are asked to summarize the main points of each paragraph in English (paraphrasing).

#### Second Year Extensive Reading

All sections of this course use the textbook *Changing Times* by Levine and Hughey (Prentice-Hall). The book contains several magazine-type readings on a wide range of subjects with various kinds of exercises, including topics for discussion. Evaluation will be based on class assignments, book reports (based on out-of-class reading), tests, interviews, and oral presentations.

英語総合講座Ⅲ (ⅢE-1)	くろ いわ ゆたか 黒 岩 裕	2 単位
		3 年
		前 期

### Reading and Discussion on Business

In this course, we will discuss selected English materials written on the topic of Japanese business and economy. The purpose of this course is to analyze the Japanese companies and the people who work for them. We will try to have a better understanding of Japanese business through the analysis of accounts given by foreign observers. No business expertise is assumed, but a moderate amount of reading will be required. Course requirements include group presentations and a final paper in English.

試 験 : 1. Term paper 2. Presentation 3. Other assignments

テキスト名 : To be selected.

英語総合講座Ⅲ (ⅢE-2)	エドワード タルボット EDWARD TALBOT	2 単位
		3 年
		前 期

### The Cultures of English

This course considers the treatment by different authors, (British, Irish and American) of the common themes of literature (family, childhood, love, nature, work, war) and relates their work to its cultural, social and political background. The course will use video and authentic recordings to stimulate discussion, as well as literary texts. Emphasis will be placed on reading literature for enjoyment.

試 験 : Assessment will be by oral presentations, group projects and written assignments throughout the course.

英語総合講座Ⅲ (ⅢE-3)	SONIA EAGLE	2 単位
		3 年
		前期

### Native North Americans

A survey of Native American cultures including an overview of Indian race, origins, migration and pre-historic cultures. Emphasis will be placed on Indian tribal groups from various culture areas such as the arctic, sub-arctic, plains, west coast, woodland and southwest areas. A consideration of Native American technology, social organization, religion, art and the current status of reservation and urban Indians will be included. Available films will be used to illustrate the cultures studied.

試験: The grade will be based on fluency writing, class assignments, quizzes and student presentations and outlines.

テキスト名: Garbarino, Merwyn S., Native American Heritage. Little, Brown & Co., Boston

英語総合講座Ⅲ (ⅢE-4)	せき や やすし 関 屋 康	2 単位
		3 年
		前期

### ENGLISH IN THE MEDIA

This course will give students an overview of the English found in the media: television, radio, newspapers, magazines, films, etc. The aim is to develop students' listening and reading comprehension, critical thinking skills and self-expression.

All of the listening selections are taken from authentic English language television and radio programs. These include: news reports, documentaries, talk shows, interviews, commercials, game shows, and dramas.

The reading selections are from popular English newspapers and magazines. We will make a list of topics according to the interests of the students in the class. Students will read the articles at home, analyze them, and be prepared to express their opinions in class. They will also be required to write weekly reports of newspaper articles of their choice.

試験: The grade for the course will be determined based on the following three elements:

1. Class Participation: 20%
2. Media Journal: 30%
3. Mid-term and Final Exams: 50%

<b>英語総合講座Ⅲ</b> (ⅢE-5)	バレ レン ティ ナ VALENTINA	2 単位
	ミ ッ ティ ナ MITINA	3 年
		前 期

PEACE EDUCATION

Participants are expected to: Learn the basics: dates, names, historical backgrounds and public statements about causes, aims, events, outcomes, etc., including details of major international conflicts in the period 1945-1992; Understand and apply relevant concepts: of positive and negative peace, of individual attitudes and personalities, of social and political organizations, of world peace and justice; acquire and enhance personal ability to understand and assess events; to recognize their own and others' feelings and to learn to handle creatively the conflict situation in their everyday lives.

The course will include the topics: Starting to Think About Peace. Wars and Crises. The Arms Race. Nuclear Weapons. The Disarmament Process. World Society. War and Preparation for War in the Modern World. The Ways Conflict Starts. Basic Conflict. Stereotypes. Images of the Enemy. Injustice Human Needs and Violence. Human Rights. Peace Action. Peacekeeping. Peace making. The Possibilities of Education.

試 験 : The grade will be based upon:

1. Written Assignments: a) Reports and essays written in the class and at home  
                                   b) Research projects  
                                   c) Final test
2. Classroom Participation: a) in discussion sessions  
                                   b) class attendance

テキスト名 : Peace and War. A First Sourcebook. By Chris Leeds.  
World Conflict Series. Written on behalf of the World Studies Project. By R. Richardson

<b>英語総合講座Ⅲ</b> (ⅢE-6)	ま 松 い 井 け い こ 松 井 佳 子	2 単位
		3 年
		前 期

THOREAU'S PHILOSOPHY OF NATURE: WHAT CAN WE LIVE FOR?

We will explore Henry David Thoreau's radical experiment of living in the woods near Walden Pond in Massachusetts (1845-47). In trying to live as simply and as independently as possible, what guidance, if any, can he offer us for coping with today's ecological crisis? What American values does he exemplify? Are his ideas relevant to Japan? We will examine the philosophical and practical implications of his life and writings. The class will be conducted in English. Students are expected to think for themselves. Each student is required to make two oral presentations, participate in class discussions, and write two papers.

テキスト名 : Henry David Thoreau, Walden and Other Writings  
 Ed., Joseph Wood Krntch (Bantam Classics)

英語総合講座Ⅲ (ⅢE-7)	VALENTINA MITINA	2 単位
		3 年
		前期

### PEACE EDUCATION

Participants are expected to: Learn the basics: dates, names, historical backgrounds and public statements about causes, aims, events, outcomes, etc. , including details or major international conflicts in the period 1945-1992; Understand and apply relevant concepts: or positive and negative peace, of individual attitudes and personalities, of social and political organization, of world peace and justice; acquire and enhance personal ability to understand and assess events; to recognize their own and others' feelings and to learn to handle creatively the conflict situation in their everyday lives.

The course will include the topics: Starting to Think About Peace. Wars and Crises. The Arms Race. Nuclear Weapons. The Disarmament Process. World Society. War and Preparation for War in the Modern World. The Ways Conflict Starts. Basic Conflict. Stereotypes. Images of the Enemy. Injustic Human Needs and Violence. Human Rights. Peace Action. Peacekeeping. Peace making. The Possibilities of Education.

試験: The grade will be based upon:

- Written Assignments: a) Reports and essays written in the class and at home  
b) Research projects  
c) Final test
- Classroom Participation: a) in discussion sessions  
b) class attendance

テキスト名: Peace and War. A First Sourcebook. By Chris Leeds.  
World Conflict Series. Written on behalf of the World Studies Project. By R. Richardson

英語総合講座Ⅲ (ⅢE-8)	まついけいこ 松井佳子	2 単位
		3 年
		前期

### THOREAU'S PHILOSOPHY OF NATURE:WHAT CAN WE LIVE FOR?

We will explore Henry David Thoreau's radical experiment of living in the woods near Walden Pond in Massachusetts(1845-47). In trying to live as simply and as independently as possible, what guidance, if any, can he offer us for coping with today's ecological crisis? What American values does he exemplify? Are his ideas relevant to Japan? We will examine the philosophical and practical implications of his life and writings. The class will be conducted in English. Students are expected to think for themselves. Each student is required to make two oral presentations, participate in class discussions, and write two papers.

テキスト名: Henry David Thoreau, Walden and Other Writings  
Ed., Joseph Wood Krutch (Bantam Classics)

英語総合講座Ⅲ (ⅢE-9)	DON HARTL	2 単位
		3 年
		前 期

### The Psychology of Knowing

An exploration of psychological aspects of perceiving ourselves and the rest of the world, mainly from a Western perspective, but with frequent comparisons to Eastern philosophy and psychology. Integrated topics include the psychology of perception, problem solving, creative thinking, the psychology of art (visual, music, drama, poetry), self-exploration, varieties of personal philosophy and social accommodation, and psychological aspects of moral thinking and religious thinking. The first term is an introduction to each topic.

The main goal is to give students plenty of practice in cultivating and expressing (in spoken and written English only) their own ideas over a wide range of topics, especially when their ideas diverge usefully from those of the teacher or the majority. Passive agreement is accepted but discouraged. Included are classroom techniques and exercises to increase creativity, self-exploration, and a relaxed climate of discussion.

試験: Evaluation is based on oral presentations, group projects, and short essays.

テキスト名: No textbook. Copies of written materials will be provided throughout the course. A printing fee is required.

英語総合講座Ⅲ (ⅢE-10)	ひさ いづみ つる お 久 泉 鶴 雄	2 単位
		3 年
		前 期

### LISTENING TO BROADCAST ENGLISH

You will be listening to various materials including FEN news and announcements, Paul Harvey's News, NHK Broadcasting Satellite news, etc. for listening comprehension in class. Let's find out what prevents us from comprehending broadcast English with precision. I'm sure there are several kinds of difficult aspects in understanding spoken English. Let's try to establish a certain number of strategies for overcoming the difficulties in listening comprehension as a speaker of Japanese. I expect you to acquire the special knowledge and skills required for comprehending broadcast English in this course.

試験: Examinations will be given on every Wednesday about what the students have learned in the previous week.

テキスト名: Handouts and cassette tapes.

英語総合講座Ⅲ (ⅢE-11)	ブルース・ホートン BRUCE HORTON	2 単位
		3 年
		前期

### Academic Writing

There are two main goals of this class: ability to organize ideas and to improve written grammar. The most important of the two is organization. By the end of the term, students are expected to understand and have the ability to use the standard methods of organizing their ideas in academic contexts; these standard methods include description, narration, classification, chronological order, process, comparison & contrast, and cause and effect. Secondary but nonetheless important goals of the course are vocabulary development, idiomatic usage of English, and the free expression of thoughts and emotions through writing.

試験: Evaluation will be based on written assignments and tests.

テキスト名: To be selected

英語総合講座Ⅲ (ⅢE-12)	まつもと 松本	しげる 茂	2 単位
			3 年
			前期

### SPEECH COMMUNICATION EDUCATION (スピーチ・コミュニケーション教育学)

This course is designed to help students to learn the theory and principles of speech communication education. Primary emphasis will be upon the nature and roles of speech communication in the Japanese educational system. The course is primarily designed for the following two groups of students: (1) Students who wish to become high school teachers of English, curriculum designers of English programs at language schools, and (2) Students who wish to pursue their studies in speech communication at the graduate school level.

試験: 1. Term paper 2. Book reports 3. Classroom discussion  
4. Other presentations 5. Other papers

テキスト名: To be selected.

英語総合講座Ⅲ (ⅢE-13)	カ KAREN シ SHRIVER	2 単位
		3 年
		前 期

### MODERN ART

This course will explore Western Art in the Nineteenth and Twentieth Centuries. It will include mostly painting and some sculpture and architecture. There will be assigned readings from the text and students will be expected to participate in class discussions. All lectures and reports will be in English.

試験 : There will be two tests : one mid-term and one final. There will also be a short (5-6 page) report on a work of modern art presently in a Japanese museum. Each student will choose the work on which he/she wishes to report.

テキスト名 : Concise History of Modern Painting, by Herbert Read,  
Thames Hudson

英語総合講座Ⅲ (ⅢE-14)	くろ 黒 いわ 岩 ゆたか 裕	2 単位
		3 年
		後 期

### Japan's Trade with the United States and Europe

In this course, we will review the history of Japan's trade with the United States and Europe since the end of World War II, focusing on the issue of trade friction between Japan and the Western countries. We will assess the arguments of Japan, US, and Europe concerning the causes of the trade imbalance to see what is wrong with the current international trade system. We will also discuss economic, social, and cultural reasons for the trade friction to see what should be done to ameliorate Japan's economic relationship with the U.S. and Europe. A moderate amount of reading and active participation in classroom activities will be required. Course requirements include group presentations and a final paper in English.

試験 : 1. Term paper 2. Group presentation 3. Other assignments

テキスト名 : To be selected.

英語総合講座Ⅲ (ⅢE-15)	EDWARD TALBOT	2 単位
		3 年
		後 期

### People and Places

This course is designed to familiarise students with different parts of Britain and with their historical and cultural backgrounds. In particular, it introduces students to a range of different accents from different regions of Britain. To do so, it uses video of real people talking about their lives, at home, at work and at play. Students will also have language practice designed to develop fluency and confidence.

試 験 : Assessment will be by assignments and tests throughout the course.

英語総合講座Ⅲ (ⅢE-16)	SONIA EAGLE	2 単位
		3 年
		後 期

### American History & Culture Through Music

This course will present the social and historical trends in the USA from the mid 1800's to the present through a study of the changes in music and music styles. An overview of early church music, Black spirituals and gospel, blues, jazz, swing, country and folk, rock and roll, 60's rock, Latin music and soul will be considered along with the social implications of these trends and changes. Student presentations and papers will be done in three areas : Focus on the Stars, Ethnomusicology and Japanese music. Videos and taped music will be used to illustrate the different music styles.

試 験 : The grade will be based on classroom discussions, fluency writing, a midterm exam and student presentations, outlines and a written report.

テキスト名 : Eagle, Sonia. American Music. Longman Publ. and a collection of articles prepared by Kanda copy center.

英語総合講座Ⅲ (ⅢE-17)	せま 関 屋 康	2 単位
		3 年
		後 期

### SOCIAL ISSUES THROUGH THE MEDIA

This course will focus on various social problems in contemporary society both in Japan and abroad. Topics will include human rights, refugees, world hunger, AIDS, the environment, feminism, and others depending on the interests of the students in the class. Students will read news reports and watch TV documentaries on these problems, and then analyze them critically and express their opinions. Furthermore, students will do research on a topic of their choice and make a group presentation.

試 験 : The grade for the course will be determined based on the following four elements:

1. Class Participation : 20%
2. Media Journal : 20%
3. Project : 30%
4. Final Exam : 30 %

英語総合講座Ⅲ (ⅢE-18)	まつ 松 い けい 井 佳 子	2 単位
		3 年
		後 期

### GROWING UP IN AMERICA

We will explore alternative ways of growing up in America by reading and discussing short stories by Sherwood Anderson (1876-1941) and the autobiography of Sylvia Plath (1932-63). In Anderson's Winesburg, Ohio George Willard struggles against the despair of small town life as he matures out of adolescence. And in The Bell Jar, the confessional poet Sylvia Plath reveals her inner struggle of madness and creativity. We will discuss conflicts, exemplified in these books, between children and parents, young and old, male and female, and the creative individual and society. Students will be expected to present their ideas in class, both informally and formally, and write papers--an interpretative paper and an autobiographical paper.

テキスト名 : Sherwood Anderson, Winesburg, Ohio (Penguin)  
Sylvia Plath, The Bell Jar (Bantam)

英語総合講座Ⅲ (ⅢE-19)	まつ 松	い 井	けい 佳	こ 子	2 単位
					3 年
					後 期

### GROWING UP IN AMERICA

We will explore alternative ways of growing up in America by reading and discussing short stories by Sherwood Anderson (1876-1941) and the autobiography of Sylvia Plath (1932-63). In Anderson's Winesburg, Ohio George Willard struggles against the despair of small town life as he matures out of adolescence. And in The Bell Jar, the confessional poet Sylvia Plath reveals her inner struggle of madness and creativity. We will discuss conflicts, exemplified in these books, between children and parents, young and old, male and female, and the creative individual and society. Students will be expected to present their ideas in class, both informally and formally, and to write papers--an interpretative paper and an autobiographical paper.

テキスト名 : Sherwood Anderson, Winesburg, Ohio (Penguin)

Sylvia Plath, The Bell Jar (Bantam)

英語総合講座Ⅲ (ⅢE-20)	DON HARTL	2 単位
		3 年
		後 期

### The Psychology of Knowing (2)

An exploration of psychological aspects of perceiving ourselves and the rest of the world, mainly from a Western perspective, but with frequent comparisons to Eastern philosophy and psychology. Integrated topics include the psychology of perception, problem solving, creative thinking, the psychology of art (visual, music, drama, poetry), self-exploration, varieties of personal philosophy and social accommodation, and psychological aspects of moral thinking and religious thinking. The second term is a more varied and flexible treatment of each topic, with increased responsibility of students to make decisions about their primary interests and the preferred pace and direction of the course. Classroom technique includes exercises to increase creativity, self-exploration, and a relaxed atmosphere for discussion. The first term of the course is recommended but not required for the second term.

試験: Evaluation is based on oral presentations, group projects, short essays, and a final 15-page paper.

テキスト名: No textbook. Copies of written materials provided. Printing fee required.

英語総合講座Ⅲ (ⅢE-21)	BRUCE HORTON	2 単位
		3 年
		後 期

### Academic Writing

There are two main goals of this class: ability to organize ideas and to improve written grammar. The most important of the two is organization. By the end of the term, students are expected to understand and have the ability to use the standard methods of organizing their ideas in academic contexts; these standard methods include description, narration, classification, chronological order, process, comparison & contrast, and cause and effect. Secondary but nonetheless important goals of the course are vocabulary development, idiomatic usage of English, and the free expression of thoughts and emotions through writing.

試験: Evaluation will be based on written assignments and tests.

テキスト名: To be selected.

英語総合講座Ⅲ (ⅢE-22)	こばやし 小林美樹	2 単位
		3 年
		後 期

### THEME WRITING

The goal of this course is to study some basic techniques to write persuasive essays. For this purpose, students will read various kinds of essays and analyze them to learn effective ways of developing ideas. After studying the basic methods of theme development, students will write essays which have a particular purpose, e.g. , evaluation, argumentation, etc.

Evaluation will be based on writing assignments and tests.

英語総合講座Ⅲ (ⅢE-23)	ロバート デ シルヴァ ROBERT DE SILVA	2 単位
		3 年
		後 期

### The Story of English

This course deals with three main areas of the English language. The first part covers the structure of English: grammar, vocabulary, pronunciation, and spelling. The second part examines some uses of English. The third section looks at the history of English from the earliest period up to modern times. This part includes a consideration of the role of English around the world today and compares the two main varieties of English, British English and American English.

Evaluation will be based on weekly homework assignments, tests, and a report.

テキスト名 : David Crystal. The English Language. (Penguin, 1988).

英語総合講座Ⅲ (ⅢE-24)	まつもと 松本	しげる 茂	2 単位
			3 年
			後 期

TEACHING ORAL COMMUNICATION (オーラル・コミュニケーション教授法)

This course is designed to help students study the philosophy, methods, and materials of teaching "Oral Communication C" (speech, debate, recitation, and discussion) in the senior high school. Emphasis will be placed on classroom problems and procedures: analysis of factors affecting instruction, organization of lessons, units, and courses of study.

Prerequisite: ⅢE-12 (Speech Communication Education)

試 験 : 1. Term paper 2. Book reports  
3. Classroom discussion 4. Other presentations 5. Other papers

テキスト名 : D. W. Klopf and S. Ishii, *Effective Oral Communication*, Tokyo: Eihosha, 1989

英語総合講座Ⅲ (ⅢE-25)	カ KAREN シ SHRIVER イ RAIBÄ	2 単位
		3 年
		後 期

EAST MEETS WEST IN ART

This course is designed as a comparison of Eastern (Japanese) and Western (European and American) Art. Lectures and class discussions will explore how the two cultures differ in how they think about art and the techniques they use as well as some of the similarities. It will also explore when and how they have influenced each other. The course will mostly concentrate on the 19th & 20th Centuries though some earlier things will be included, all lectures will be in English.

試 験 : There will be two tests : one mid-term and one final. There will also be a short 5-6 page paper in English.

テキスト名 : No textbook, assigned readings will be made available.

英語総合講座Ⅳ (ⅣE-1)	たなかまきこ 田中真紀子	2 単位
		4 年
		前期

#### Readings on Social Life in U. S. A.

This course will provide students with an opportunity to look at a wide variety of aspects of contemporary American life through reading a selected textbook, America IN CLOSE UP. Topics to be dealt with include American beliefs and values, education, and religion.

Students are encouraged to actively participate in class discussion. Evaluation will be based on a weekly homework assignment from the reading, oral presentation, a term paper and tests (mid-term and final).

テキスト名 : America IN CLOSE-UP by Eckhard Fiedler, Reimer Jansen, and Mil Norman-Risch. Longman (1990)

英語総合講座Ⅳ (ⅣE-2)	ソニア・エイグル SONIA ÉAGLE	2 単位
		4 年
		前期

#### Readings and Film on Ethnography

This course will include lectures and student presentations on cultures around the world. A neo-evolutionary approach will be used to study hunting and gathering bands, horticultural and pastoral tribal societies, early Kingdom-states and peasant societies. Emphasis will be placed on the environment, level of technology, social organization, ideology and culture change. Ethnographic field methods and descriptions will be used to understand different people and cultures. Films will be incorporated into the course on people from various socio-economic levels.

試験 : The grade will be based on student written and administered quizzes, on student presentations and outlines and on a final book report.

テキスト名 : Service, Elman Profiles in Ethnology. Harper & Row.

英語総合講座Ⅳ (ⅣE-3)	エドワードタルボット EDWARD TALBOT	2 単位
		4 年
		前期

#### Communicate in Writing

The aim of this course is to teach the skills necessary for successful communication in written English. It is designed to help students put sentences together so that they are easy to read and understand, to construct paragraphs and plan their writing. Types of writing will include letters, articles for newspapers and magazines, reports, instructions and advertisements. In addition to writing, students will also have practice in discussion, listening and reading.

試験: Assessment will be by written assignments throughout the course.

テキスト名: Writing Skills by N. Coe, R. Rycroft and P. Ernest,  
Cambridge University Press.

英語総合講座Ⅳ (ⅣE-4)	さか た やす よ 阪 田 恭 代	2 単位
		4 年
		前期

#### U. S. Diplomatic policy toward Asia

In this course, we will examine America's relationship with the Asian region and countries, including China, Japan, Korea and Southeast Asia. The focus will be on America's policy in the post-World War II period. Students will be required to read the materials related to the topic, participate in class discussion, write two papers (1 mid-term, 1 final), and hand in summaries of selected articles from current periodicals. Assignments are to be written in English. Detailed information will be provided at the first meeting.

試験: Instead of exams, final examination will be mainly based on the two papers mentioned above.

テキスト名: Copies of books and articles will be provided throughout the course. Some printing fees will be requested.

英語総合講座Ⅳ (ⅣE-5)	ドゥンハート DON HARTL	2単位
		4年
		前期

### The Philosophy of Knowing (1)

An exploration of how we come to know ourselves and the rest of the world, mainly from a Western philosophical perspective, but with frequent comparisons to Eastern thought. Integrated topics include philosophies of knowledge, ways of knowing (logical, empirical, others), creative thinking, creative response to art (visual, music, drama, poetry), self-exploration, varieties of personal philosophy and social accommodation, moral philosophies, and religious experience. The first term introduces each topic.

A philosophy background is desirable but not required. The main goal of the course is to give students plenty of practice in cultivating and expressing (in spoken and written English only) their own ideas over a wide range of topics, especially when their ideas diverge usefully from those of the teacher or the majority. Passive agreement is accepted but discouraged. Included are classroom techniques to facilitate creativity, self-exploration, and a relaxed climate of discussion.

試験: Evaluation is based on oral presentations, group projects, and short essays.

テキスト名: No textbook. Copies of written materials provided. Printing fee required.

英語総合講座Ⅳ (ⅣE-6)	ジャッキーマナリ JACKIE MINARI	2単位
		4年
		前期

### Poetry

The purpose of this class is to develop an appreciation of the nature of poetry. We will look at the complexity of the ideas behind a poem as well as the language in which a poem is expressed. Personal interpretations will be discussed and debated in class. Poetic techniques will be analyzed. Dramatic readings will be practiced and performed. We will also experiment with the writing of original poetry.

Active participation in class discussions is vital. Creativity encouraged. Evaluations will be based on weekly homework assignments, presentations, and tests.

テキスト名: Martin and Hill. Modern Poetry. Cassell Publisher.

<b>英語総合講座 IV</b> (IVE - 7)	バレレンティナ VALENTINA	2 単位
		4 年
	ミツチイナ MITINA	前 期

**Russia : Aspects of Culture and History**

Course Objectives : to acquire some basic information and knowledge on the Russian culture and history ; to be able to present one's own opinion and support it with facts and reasoned arguments based on the acquired knowledge, describe in English (in the oral and written forms) aspects of historical, cultural and social life in ancient, medieval periods, before and after the Revolution of 1917, including the present day changes.

Study Units will include: Geographical rudiments of the former Soviet Union and Russia. The present day situation in the Commonwealth of Independent States (CIS). Ancient Russian history and culture. Russia from the epoch of Peter the Great to 1917. The Russian culture in the 20th century. The Soviet period. Perestroika (Reconstruction), its influence on the development of the modern Russian society.

試験 : The grade will be based upon:

1. Written Assignments: a) Reports and essays written in the class and at home  
 b) Research projects  
 c) Final test
2. Classroom Participation: a) in discussion sessions  
 b) class attendance

テキスト名 : From Russia to USSR and Beyond. By Vaillant Richards.  
 The Soviet Union: History, Culture, People. By M. Belasco, H. Hammond

<b>英語総合講座 IV</b> (IVE - 8)	ジャッキエ ミナリ JÁCKĪĒ MĪNARĪ	2 単位
		4 年
		前 期

**Poetry**

The purpose of this class is to develop an appreciation of the nature of poetry.

We will look at the complexity of the ideas behind a poem as well as the language in which a poem is expressed. Personal interpretations will be discussed and debated in class. Poetic techniques will be analyzed. Dramatic readings will be practiced and performed. We will also experiment with the writing of original poetry.

Active participation in class discussions is vital. Creativity encouraged. Evaluations will be based on weekly homework assignments, presentations, and tests.

テキスト名 : Martin and Hill. Modern Poetry. Cassell Publisher.

英語総合講座 IV (IV E - 9)	たなか まきこ 田中 真紀子	2 単位
		4 年
		後 期

### Contemporary Social Problems in U. S. A.

In this course, students will observe some typical social problems that affect people's lives in the U.S.A. Topics to be dealt with include crime and juvenile delinquency, drug use, alcoholism, AIDS, and family disorganization. Students will study these social problems from a sociological point of view. Reading materials will be mostly from Contemporary Social Problems (2nd ed. by Vincent N. Parrillo et al. Macmillan, 1989), but students will also read materials from TIME and Newsweek magazines and newspapers.

Students are encouraged to actively participate in class discussion. Evaluation will be based on a weekly homework assignment from the reading, oral presentation, and tests.

テキスト名 : Copies of books and articles will be provided throughout the course.

A printing fee will be requested.

英語総合講座 IV (IV E - 10)	エドワード タルボット EDWARD TALBOT	2 単位
		4 年
		後 期

### Academic Writing

This course is designed to teach students the kind of writing necessary for university study in English. As well as writing skills such as sentence and paragraph construction, formal/informal style, planning and organising material, and note-taking. The course will cover the writing of summaries, descriptions, narratives, reports and discursive essays. Students will also have practice in discussion, listening and reading.

試験 : Assessment will be by written assignments throughout the course

英語総合講座Ⅳ (IV E - 11)	SHEIRÁ RAMSEY	2 単位
		4 年
		後 期

#### A Values perspective in Culture and Communication

Students will read about and discuss selected topics regarding culture and communication. Emphasis will be placed on understanding a values perspective and how values lay the foundation for a wide variety of differences and similarities in behavior across cultures. Students will be asked to examine their own values, beliefs and behaviors and to complete small research projects exploring the values and beliefs of others.

試験 : Evaluation will be mainly based on the research project and short quizzes as well as participation and attendance.

英語総合講座Ⅳ (IV E - 12)	さか た やす よ 阪 田 恭 代	2 単位
		4 年
		後 期

#### East Asian International Relations

In this course we will study the evolution of international relations in East Asia and the Pacific region, with a focus on the end of the Pacific War and the Cold War period. We will also examine the issues arising from the current search for a new order.

Students will be required to read the materials related to the topic, participate in class discussion, hand in summaries of selected articles from current periodicals, make one oral presentation, and write one final paper. Assignments are to be written in English. Detailed information will be provided at the first meeting.

試験 : Instead of exams, final evaluation will be mainly based on the summaries, presentation, and final paper.

テキスト名 : Copies of books and articles will be provided throughout the course. Some printing fees will be requested.

英語総合講座Ⅳ (ⅣE-13)	DON HARTL	2 単位
		4 年
		後 期

#### The Philosophy of Knowing (2)

An exploration of how we come to know ourselves and the rest of the world, mainly from a Western philosophical perspective, but with frequent comparisons to Eastern thought. Integrated topics include philosophies of knowledge, ways of knowing (logical, empirical, others), creative thinking, creative response to art (visual, music, drama, poetry), self-exploration, varieties of personal philosophy and social accommodation, moral philosophies, and religious experience. The second term is a more varied and flexible treatment of each topic, with increased responsibility of students to make decisions about their primary interests and the preferred pace and direction of the course. The first term of the course is recommended but not required for the second term.

試験: Evaluation is based on oral presentations, group projects, short essays, and a final 20-page paper.

テキスト名: No textbook. Copies of written materials provided. Printing fee required.

英語総合講座Ⅳ (ⅣE-14)	JACKIE MINARI	2 単位
		4 年
		後 期

#### Telling It Like It Is: Culture Through Idioms

Language and culture are interdependent. One can analyze the way a society thinks by examining their language. The purpose of this class is to provide insight into American society by focusing on the idiomatic part of their language. Hundreds of common and current American expressions will be analyzed, discussed and actively practiced. Idioms will be presented mainly based on readings and discussions of such cultural attitudes as privacy, honesty, thinking ability, and independence...

Active participation in class discussions is vital. Creativity encouraged. Evaluations will be based on weekly homework assignments, presentations, and tests.

テキスト名: Attitudes Through Idioms. Adams and Kuder. Newbury House Publishers.

英語総合講座Ⅳ (IV E - 15)	まつもと 松本 茂	2 単位
		4 年
		後 期

INTRODUCTION TO ARGUMENTATION (議論学概論)

This course is designed to help students to learn (1) basic principles of reasoning and evidence used in public deliberation, and (2) their applications to the building and refuting of arguments. Emphasis will be upon systems analysis and contemporary argumentation skills.

試 験 : 1. Debates 2. Term paper 3. Book reports 4. Classroom discussion  
5. Other presentations

テキスト名 : D. A. Infante, *Arguing Constructively*, Illinois: Waveland Press, 1988

英語総合講座Ⅳ (IV E - 16)	ジャック・ミンナリ JACKIE MINARI	2 単位
		4 年
		後 期

Telling It Like It Is : Culture Through Idioms

Language and culture are interdependent. One can analyze the way a society thinks by examining their language. The purpose of this class is to provide insight into American society by focusing on the idiomatic part of their language. Hundreds of common and current American expressions will be analyzed, discussed and actively practiced. Idioms will be presented mainly based on readings and discussions of such cultural attitudes as privacy, honesty, thinking ability, and independence...

Active participation in class discussions is vital. Creativity encouraged. Evaluations will be based on weekly homework assignments, presentations, and tests.

テキスト名 : Attitudes Through Idioms. by Adams and Kuder. Newbury House Publishers.

英 語 学 概 論 A	FRÁNCIŠ JŃHŃSONŃ	4 単 位
		1 ~ 4 年
		前 期

Introduction to English Linguistics provides students with a basic knowledge of the nature of language, particularly, the English language.

The course begins with a study of what language is. It continues with an examination of some grammatical aspects of English, some social aspects of English, and some biological aspects of English.

The course will be conducted in English, and aims to improve not only the students' knowledge of English but their use of English.

試 験 : Two multiple-choice tests

テキスト名 : Victoria Fromkin and Robert Rodman, An Introduction to Language, Holt, Rinehart and Winston. 1988.

英 語 学 概 論 B	ŘŃBĚŘ ĎĚ ŠĪLVÁ	4 単 位
		1 ~ 4 年
		前 期

This course is a survey of the principles of linguistics with an emphasis on the English language. It will begin with an overview of the origin and properties of language in general. The major section of the course will deal with the phonetics, morphology, syntax, semantics, and lexicon of English. Further topics to be studied include a brief look at the historical development of English, varieties of English around the world, and social aspects of American English. The course will be conducted mainly in English.

テキスト名 : Victoria Fromkin and Robert Rodman. An Introduction to Language, 5th Ed. (Harcourt, Brace and Jovanovich, 1993)

英 語 学 概 論 C	こ ばやし み き 小 林 美 樹	4 単 位
		1 ~ 4 年
		前 期

英語を世界の言語の中の一言語としてその位置づけを考え、発音、文字、語彙、文法の点からその特徴を概説する。続いて構造的見地から、それらの特徴を分析する。さらに意味に関する諸問題、英語の地域的・社会的変動、史的变化について述べる。

試 験：未定

テキスト名：未定

英 語 学 概 論 D	ひ さ い ず み つ る お 久 泉 鶴 雄	4 単 位
		1 ~ 4 年
		前 期

英語を世界の言語の中の一言語としてその位置づけを考え、発音、文字、語彙、文法の点からその特徴を解説する。続いて構造的見地から、それらの特徴を分析する。さらに意味に関する諸問題、英語の地域的・社会的変動、史的变化について述べる。

試 験：期末筆記試験一回。

テキスト名：George Yule: The Study of Language. Cambridge University Press.  
1985.



英 語 学 概 論 G	せき 関	や 屋	やすし 康	4 単 位
				1 ~ 4 年
				前 期

英語の世界の言語の中の一言語としてその位置づけを考え、発音、文字、語彙、文法の点からその特徴を概説する。続いて構造的見地から、それらの特徴を分析する。さらに意味に関する諸問題、英語の地域的・社会的変動、史的变化について述べる。

試 験：未定

テキスト名：未定

英 語 音 韻 論	せき 関	や 谷	やすし 康	4 単 位
				1 ~ 4 年
				後 期

本講座は英語の音韻構造の基礎知識を身につけることを目的とする。子音、母音、音節構造、音素配列、語強勢、文強勢、イントネーション、歴史的音韻変化、綴り字と発音の関係などを取り上げる。授業では講義だけでなく、与えられた英語のデータをもとに、一般化の規則を発見させるような練習問題を数多く行うので、受講者の積極的な参加が望まれる。尚、音声学の基礎知識を前提として講義を行うので、英語音声学を履修していることが望ましい。

試 験：中間、期末の2つの試験の成績に基づいて行う。

テキスト名：C. Kreidler. The Pronunciation of English: A Course Book in Phonology. Blackwell, 1989.

英 文 法 論 A	ŠUSĀN FĪSCHĒR	4 単 位
		2 ~ 4 年
		前 期

This course covers the principles of syntactic theory as applied to the analysis of English grammar. Topics covered but are not limited to the internal structure of phrases, the relationship between structure and meaning, the interpretation of nouns and pronouns, the meaning relations among different types of sentences, and the significance of null categories. While the course focuses on English, comparisons with other languages, including Japanese, will be made as appropriate. The course is taught in English, with required exercises and examinations.

英 文 法 論 B	いわもと え のく 岩 本 遠 億	4 単 位
		2 ~ 4 年
		前 期

生成変形文法における構文論の研究方法を示す。まず、構文研究において説明しなければならない現象とは何かを明らかにし、基本的な概念を導入する。次に、変形を用いた構文分析の技術を身につけさせ、生成文法における思考法を示す。コースの後半では、変形による構文分析の限界を示すとともに、意味の構造決定に果す役割や最近の文法理論についても議論する。講義は、教える側の一方的講述でなく、学生の積極的参加を期待する。従って受講者は、指定される文献を必ず読んでから講義に出席しなければならない。

試 験：2度テストを行なう。形式についてはクラスの中で話し合いの上決定する。

社 会 言 語 学 A ・ B	くまとりたに てつ お 熊取谷 哲 夫	4 単 位
		3 ~ 4 年
		通 年

社会言語学は、社会・文化的コンテキストから言語を見る言語学の領域であるが、本コースでは、(1)社会言語学とはどのような学問か、(2)どのような言語現象を扱おうとするのかを主としてテキストの講読を通して学んでいく。また、社会言語学の方法論を体験するために、データの収集および分析を試みる。

試 験：評価の方法については、受講者と相談の上第1回目の授業で決定する。

テキスト名：Fasold, Ralph. 1990. Sociolinguistics of Language. Cambridge, MA: Basil Blackwell.

社 会 言 語 学 C	ŠŌNĪĀ ĒĀGLĒ	4 単 位
		3 ~ 4 年
		後 期

In this course stress is placed on discovering and understanding the social or cultural component of language and language learning and the rule governed nature of language behavior. The course presents an overview of the field of sociolinguistics including language evolution, children's language, the Sapir-Whorf hypothesis, speech acts, pragmatics, phatic communication, Kenesics, pidgins, creoles and lingua franca. Dialect studies including those related to social class, gender, age and region are reviewed. Also considered are discourse rules, written and spoken, as well as intercultural variations. Field methods and field studies in sociolinguistics are examined. A consideration of bilingualism, multilingualism and national language planning is included.

試 験 : Grades will be based on class assignments, a short paper on Japanese sociolinguistics and a final exam.

テキスト名 : Chaika, Elaine, Language: The Social Mirror. Newbury House, 1989.

心 理 言 語 学 A	フ ラ ン シ ス ジ ョ ン ソ ン FRANCIS JOHNSON	4 単 位
		3 ~ 4 年
		後 期

Psycholinguistics begins with a survey of different relationships between language and the mental processes. It then proceeds to examine in detail one of these relationships—second or foreign language acquisition. The detailed study of how people acquire (learn) a second or foreign language begins with an examination of some of the important issues of second language acquisition, and continues with a study of factors which influence the process of second language learning. The course concludes with an examination of some theories of second language acquisition.

The course is conducted in English. Only those students with a good command of English should consider enrolling.

試 験 : Two multiple-Choice tests

テキスト名 : R. Ellis, Understanding Second Language Acquisition (Oxford University Press) 1986.

心 理 言 語 学 B	4 単 位
	3～4 年
	集中講義

生成文法と言語心理学。言語獲得（第一言語および第二言語）。統語分析。

試 験：持ち帰り（take-home）試験数回。

応 用 言 語 学 A ・ B	こ いけ いく お 夫	4 単 位
		3～4 年
		通 年

本講座は、応用言語学の基礎を広く紹介することを目的としており、はじめて応用言語学を学ぼうとする学生に適した内容である。基礎的な言語学の知識を持っていることが望ましい。内容としては、言語の習得に関する理論、学習との関係、社会言語学の分野としてことばに繁栄する社会現象、談話の構造、外国語と国際社会の関連、外国語教授法理論、バイリンガリズム、言語政策などを解説し、かつ文献を読み報告をしてもらう。本講座をとることにより、さらに深く特定の分野を研究してもらうためのレポート作成も行うことになるであろう。

試 験：出席を重視し、クラスで積極的な学習態度をとること。学期末試験を2回、このほかにレポートを作成する。

テキスト名：未定

応 用 言 語 学 C	フ ラ ン ス 語 学 FRANÇIŚ JOHNSON	4 単 位
		3 ~ 4 年
		前 期

Applied Linguistics begins with a survey of some of the fields in which linguistic knowledge is applied to life and work. It continues with a detailed examination of one of these fields –the learning and teaching of English as a foreign language. Students examine the concepts of learning and teaching language, and English language learning and teaching. A theory of English as a foreign language learning and teaching is proposed and discussed. Study proceeds from theory to practice as methods of learning, teaching and testing English as a foreign language are examined.

試 験 : Two multiple-Choice tests

テキスト名 : Copies of articles and papers will be provided throughout the course.

応 用 言 語 学 D	せき や やすし 関 屋 康	4 単 位
		3 ~ 4 年
		後 期

本講座では応用言語学の重要な分野である第二言語習得研究に焦点をあてて授業を行う。テキストを基にこれまでの研究成果を理解し、問題点、今後の課題を考えていく。

又、英語学習者が実際に書いたもの、話したものをいろいろな観点から分析する練習も行う。尚、講義は英語と日本語の両方で行う。

試 験 : 中間、期末の2つの試験の成績とレポートによる。

テキスト名 : H. D. Brown. Principles of Language Learning and Teaching.  
(2nd Edition) Prentice Hall, 1987.

英 語 学 演 習	ひさ いづみ つる お 久 泉 鶴 雄	4 単 位
		2 ~ 4 年
		後 期

学生は英語学研究の方法と論文の形式を学んだあと実際の論文をモデルとして読んでみる。そのあと『英語語法大事典』（大修館書店）記載の質問事項から興味のあるテーマを選び、今までの研究文献を整理し、実際の英文を蒐集して資料を作成する。その中から問題点を発見して新しい事実や規則性を研究する。テーマを決めた時点、今までの研究のまとめが終わった時点、研究の途中、および完了時に口頭発表を行う。級友と担当教員のアドバイスを受けて、コースを終了。試験は無し。代わりに研究レポートを提出する。

試 験：試験はなく研究レポートを提出する

テキスト名：なし。ハンドアウトを配布。

スピーチコミュニケーション A・B	はら おか しょう こ 原 岡 笙 子	4 単 位
		2 ~ 4 年
		後 期

ストレス、リズム、イントネーションの訓練と音声表出に伴う非言語の観察を、テレビドラマを通して行い、音声面・文化面の分析をする。毎時間ビデオを使用し、コミュニケーションの主要素を分析するが、音声訓練が厳しいので、真に関心のある学生の受講を望む。また、英語のリズム習得のため音声面からDiscourse Analysisを行う。

試 験：語彙テスト、クイズを数回行う。期末はレポート、録音したテープを提出することになる。

テキスト名：①放送大学「英語Ⅳ」

—An Introduction to Living English—TVドラマの英語 日本放送出版協会発行

②月刊誌からのプリント

商業英語 A・B	たけがみこうのすけ 武上幸之助	4 単位
		2～4 年
		通 年

本講義では、将来国際ビジネス、国際取引に携わる際に必要となるビジネスに関する英語表現と実務知識の修得を目標とする。主に素材は英文レターを扱い、専門用語の修得、Pitman方式による定型表現演習を中心とする。尚、前期では基本表現と実務知識を、後期では応用表現を扱う。又日商主催商業英語検定試験についても言及する。

(内容例) ①商業英文の構造。②取引先との交渉。③成約と契約文書。④船積及び通関手続。⑤海上保険。⑥外国為替、手形金融。⑦決済条件。⑧国際マーケティング。⑨取引の背景となるUCC(米民商法)、SGA(英売買法)及び日本民商法の比較。

試 験：前・後期定期試験、又は必要に応じてレポート。

テキスト名：商業英語教本、武上 著 専門教育出版社

Business English-Advanced Reading & Writing, 武上著

専門教育出版社

時事英語 A	まつもと しげる 松本 茂	4 単位
		1～4 年
		前 期

時事英語を理解するための基礎的な能力を養成する。具体的には時事問題への理解を深め、時事問題に関するボキャブラリーを増やし、新聞や雑誌の記事構成を把握し、そのうえでメインポイントを正確に、そして素早く掴むことを主眼に置いた学習・練習を行う。

新聞や雑誌などの「活字メディア」だけではなく、テレビやビデオなどの「映像メディア」やラジオなどの「音声メディア」も言語材料として使う。

試 験：登録者数が50名を越える場合は、前期・後期にそれぞれ1回ずつ試験を行う。

50名未満の場合は小テストや発表などを試験の代わりとする(具体的なことは授業中に指示する)。

テキスト名：『CNNキーワード』(朝日出版社)

時 事 英 語 B ・ C	よし もと しんいちろう 吉 本 晋一郎	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

時事英語はなにか特殊なものと思われているが、実際にはそうではない。そのことをのみ込めば、英語の上達だけでなく、流動的な国際問題への関心と理解を高める道が、努力とともに開けていく。

必要なのは高次の英語の力で、英語紙のニュース記事がむつかしいと思われるのはその事柄についての知識があるかないかの問題で、英語の実力の問題ではない場合が多い。

本講座では、まず新聞英語の仕組みを理解し、基礎的な例文をなるべく辞書を使わないで読みこなす力をつけてみたい。内外の英字紙を教材にして、速読、大意をつかむ演習を重ね、そのあと邦字のニュース記事を素材に、「かけ出しの記者」くらいには、英語のニュース記事が書けるようにしたい。それとともに、VOAニュースを聞きながら、即座に和訳する力をつけてみよう。

試 験：平常授業時間中に実施する。

意 味 論	とく なが み さと 徳 永 美 暁	4 単 位
		3 ～ 4 年
		通 年

言語の意味とは何か。言語学に於ける意味論についての一般概論をこのコースの目的とし、意味論をするにあたって必要とする思考力、洞察力、そして分析力を高める。

学生は、読解力、分析力、そしてその表現力を、ディスカッション、問題解き、発表、そしてレポートとして示すことを求められる。

試 験：問題解き、文献解釈、そしてプロジェクトの全体評価。

テキスト名：ハンドアウト

英 語 史	こ ばやし み き 小 林 美 樹	4 単 位
		2～4 年
		前 期

英語という言葉が統語的、音韻的にどのような変化をたどってきたのかを概説する。古期英語の文法は現代英語に比べかなり複雑であり、名詞・形容詞の屈折変化等、暗記事項も多く、こつこつと勉強することが必要とされる。英語音韻論、英語学概論を履修していることを前提として授業を進める。

試 験：前期中に三回行なう予定。レポートは一回。

テキスト名：『英語発達史』 バーバー 英宝社

現 代 英 文 法 A	こ ばやし み き 小 林 美 樹	4 単 位
		2～4 年
		後 期

英語の実際の姿をできるだけ体系的に捕えていく。その上で個々の単語（動詞等）がどのように使われているのかを学び、正確な文法知識を身につけていく。

試 験：2回又は3回行なう。体系的な捕え方ができているかどうか、及び個々の単語のふるまいが正確に理解できているかどうかを問う。

テキスト名：未定

現代英文法 B	ひさ いずみ つる お 久 泉 鶴 雄	4 単位
		2～4 年
		後 期

この科目は我が国における中学・高校の学校文法を精密化して、現代の英語の文法と語法を正しく把握することを目的とする。そのために今までの知識や思い込みとのズレを重視し、英文の理解が深まり、適確な英語表現ができるように、役に立つ英文法の勉強をする。なお、この科目で扱う文法事項は、大学院の授業科目、「英語学研究Ⅳ」（現代英語語法）で更に詳細に検討される。

試 験：期末筆記試験一回（テキスト・ノートの持込み可、翻訳書の持込み不可）

テキスト名：Sidney Greenbaum/Sir Randolph Quirk, A Student's Grammar of the English Language. Longman

現代英文法 C	BRUCE HORTON	4 単位
		2～4 年
		後 期

This course is a survey of the grammar of the present-day English with an emphasis on acquiring the overall knowledge of the English grammar and the skills in the use of English.

テキスト名：To be selected.

日 本 語 学 I	いわもと えのく 岩 本 遠 億	4 単 位
		2～3 年
		後 期

現代日本語の音声と表記の体系について論じる。音声に関しては、生成音韻論を用い、音声と音韻ならびに語の内部構造と発音・アクセントの関連について考える。後半では、日本語の表記体系を、歴史的及び音韻論的側面から論じる。

試 験：学期末にテストを行う。それ以外に数回宿題を出す。

日 本 語 学 II	おく っ けい ちろう 奥 津 敬 一 郎	4 単 位
		3～4 年
		通 年

現代日本語について、特に基本的な文型・文法事項をとりあげ、日本語教育とも関連させて講ずる。また英語・中国語・韓国語などとの対照も試みる。

試 験：学年末の定期試験の時に、筆記試験を行なう。

テキスト名：『日本語への招待』奥津敬一郎、田中章夫 凡人社

討 論 法 I	まつ 松 もと 本 しげる 茂	4 単 位
		1 年
		前 期

教育訓練ディベートの入門コース。主に日本語によるディベートの実践を通して健全なる critical thinking の能力と論理的に討論できる基礎的な能力を養成する。大学対抗英語ディベート大会の見学など、学外での学習も行う。授業時間以外にも図書館でのリサーチやグループワークなどに多くの時間を割く必要がある。

試 験：ディベート、その他のプレゼンテーション、レポート等。

テキスト名：『英語ディベート実践マニュアル』（バベル・プレス）

討 論 法 II	まつ 松 もと 本 しげる 茂	4 単 位
		1 年
		後 期

教育訓練ディベートの初級コース。英語によるディベートの実践を通して論理的に議論を展開する手法を身につける。学外のディベート大会への出場を目指す。図書館でのリサーチなどに討論法 I よりも多くの時間を割く必要がある。授業は主に英語で行う。

Prerequisite：「討論法 I」

試 験：ディベート、その他のプレゼンテーション、レポート等。

テキスト名：未定

談 話 分 析	ROBERT DE SILVA	4 単 位
		2 ~ 4 年
		前 期

Discourse analysis is concerned with the study of the relationship between language and the contexts in which it is used. It describes and analyzes spoken language, such as conversations, classroom interaction, and formal speeches. In addition, it studies the way written interaction (newspaper articles, letters, instructions, stories, etc.) is organized. The aim of this course is to come to a better understanding of how natural spoken and written English discourse looks and sounds. (This course will be conducted entirely in English.)

英 語 音 声 学 A	せき や やすし 関 屋 康	4 単 位
		1 ~ 4 年
		前 期

This course provides students with a basic knowledge of English phonetics. The course will deal with speech mechanism, consonants, vowels, consonant clusters, stress, rhythm, intonation, and various sound phenomena in connected speech. Further topics to be studied include differences in pronunciation between British English and American English and a contrastive analysis of the English and Japanese sound systems. Furthermore, students will be trained to transcribe speech sounds using the International Phonetic Alphabet. (This course will be conducted both in English and Japanese.)

- 試 験 : 1. reading assignments  
 2. transcription exercises in class and as homework  
 3. lab work outside class  
 4. mid-term and final exams

テキスト名 : Peter Roach. English Phonetics and Phonology.  
 (Second Edition) Cambridge University Press, 1991.  
 Setsuko Koizumi & Mikiko Sugimori. English  
 Pronunciation for Communication. Nanun-do, 1988.

英語音声学 B・C	はら おか しょう こ 原 岡 笙 子	4 単位
		1～4 年
		前 期

音韻論全般の基礎知識に触れることから入り、子音・母音の発音の仕方を音声学として体系的に理解しながら習得する。また、英語を正しく聞きとる上でも大切な要素となる音変化の現象を認識し、自然な英語が聞いて分かれると同時に英語らしい発音が身につくよう反復練習を行なう。最後に、強勢（アクセント）、イントネーションの理論と実践に入り、英語らしい英語のスピーキングの基礎の総仕上げをする。音声面の訓練に更に力をいれたければ、リズム、イントネーションを主とした劇や朗読の訓練コースである「スピーチコミュニケーション」の科目をとることを勧める。

英語圏での生活体験者や音声面の修得を少しでもやってきた人は、英語で行われる「英語音声学A」を取って欲しい。

試 験：小テストを数回行い、期末は理論・体系を主とした総合試験をする。

テキスト名：Aural-Oral Approach to Modern English

－英語の発音とヒアリング－ 高本捨三郎編著 南雲堂

日 英 語 対 照 研 究	いわ もと え のく 岩 本 遠 億	4 単位
		2～4 年
		後 期

日本語と英語の統語構造を比較対照する。補文構造、関係節形成、文法関係の表示などどのような共通性と相違点があるのかを考えてもらう。

講義はゼミ形式で行う。クラスの中で提示する文献を読みこなし、積極的に議論に参加する学生の受講を期待する。対象は、「英文法論」既習者。

試 験：レポートを2回提出してもらう。

日 本 語 教 授 法 Ⅰ	はやし 林	あき 明	こ 子	4 単 位
				3～4 年
				前 期

外国語としての日本語教授法を重点的にとりあげ、利点、問題点を踏まえた有効な活用方法について考える。言語教授法の歴史的背景、理論背景についても概説する。

試 験：学期末にレポートを課す。課題の詳細については授業で説明する。

参 考 書：田中 望『日本語教育の方法——コース・デザインの実例——』大修館書店  
伊藤嘉一『英語教授法のすべて』大修館書店

日 本 語 教 授 法 Ⅱ	はやし 林	あき 明	こ 子	4 単 位
				3～4 年
				後 期

日本語教育の教科書を分析し、それぞれのシラバス・デザインの特徴を生かした教材の開発を試みる。また、実際の教室活動を想定して指導案を作成し、模擬授業を行う。

授業は「日本語教授法Ⅰ」を履修していることを前提にすすめる。

試 験：学期末にレポートを課す。課題の詳細については授業で説明する。

テキスト名：適宜、指定する。

英 米 事 情 A	たか 高 すぎ 杉 ただ 忠 あき 明	4 単 位
		1～4 年
		前 期

この授業では、アメリカ社会に関する総合的な理解を深めるため、地域研究的アプローチと日米の比較の視座を取り入れながら、以下のトピックについて講義を行なう。移民の歴史、地理、人種問題、宗教、アメリカ的生活様式、家庭、教育、政治・経済制度、外交政策。

扱うテーマが多岐にわたるため必然的に必要最小限の基礎的な考え方にしぼって講義を進めてゆくが、受講者は授業で紹介した参考文献を読み、足りないところを補いながら、それぞれのテーマについて問題意識を深めていって欲しい。履修者は各自が関心を持ったテーマの中から一つを選択して6月中旬までに「中間レポート」を書き提出する。その後、7月の第一週までに同じテーマでより内容を洗練させた「最終レポート」を提出することが必要である。

試 験：評価は、(1)授業で扱ったテーマについて学期末に行なう試験と、(2)最終レポートの内容によって決めることにする。詳細は授業の際に説明します。

テキスト名：授業で適宜紹介する。

英 米 事 情 B ・ D	くろ 黒 いわ 岩 ゆたか 裕	4 単 位
		1～4 年
		後 期

アメリカはしばしば多民族社会と呼ばれますが、その歴史や実情は意外に日本人には知られていません。この講座では、アメリカの民族問題に関する理解を深めることを目的に、以下のテーマにそって講義をすすめる予定です。

1. 植民地時代から現代にいたる北米大陸への移民の歴史。
2. 黒人、日系アメリカ人、アメリカ・インディアン人の歴史。
3. 職業・教育・言語等におけるアメリカのマイノリティーの現状。

試 験：未定。

英 米 事 情 C	RÓBERT ĎĚ ŠILVÁ	4 単位
		1～4 年
		後 期

This course provides a general introduction to the life and culture of the United States and Britain. Topics that will be covered include geography, history, government, religion, art, literature, and education. The first half of the course will be on the U.S. while the second half will focus on Britain. Evaluation will be by tests based on the lectures and readings, and individual reports. The lectures will be given only in English.

英 米 事 情 E	ŠONIÁ ĚÁGLĚ	4 単位
		1～4 年
		後 期

This course includes an overview of basic concepts essential to an understanding of culture in general and American culture in particular, including a review of concepts such as culture, race, ethnocentrism, cultural relativism, prejudice, stereotyping enculturation, acculturation and culture shock. Emphasis is placed on the diversity of American culture in terms of geography, economy, religion, education, race, ethnicity and language. America's heterogeneous immigrant population and the American melting pot theory are evaluated. American character, personality, values, beliefs and world view are considered. Some emphasis is placed on ethnographic field methods as a mechanism for learning and understanding another culture. Skills in essay writing and field reports are developed. Films and film clips are used to illustrate the course content.

試 験 : Grades will be based on class assignments, plus a midterm and a final exam.

テキスト名 : Understanding American Culture by S. Eagle (Kanda Copy Service)

英米事情 F・G	もり 森	た 田	まさ 正	み 實	4 単位
					1～4 年
					後 期

英文学の史的背景としての、英国の社会的・文化的側面を考察し、その全体像を明らかにすると共に、英国の国民性とその精神的・思想的伝統が形成されて来た由来を探求し、英国文化と教養の本質に迫りたい。

試 験：主として、期末試験と課題レポートの結果によって、評価を行なう。

テキスト名：The Heart of England 北星堂

オセアニア英語文化圏事情	フ ラ ン シ ス	ジ ョ ン ソ ン	4 単位
			1～4 年
			後 期

Course Description : The purpose of this course is to introduce students some of the major features of English speaking Oceania ; its history, geography, government, peoples and culture. Particular focus will be on Australia and New Zealand with occasional surveys of other Oceanic nations as warranted. The course will follow a general lecture format and allow time for student questions at the end of every session. Students will be expected to take notes during the lecture and to have done the assigned reading before coming to class. Each lecture will be organized around a central topic ; that is, each lecture will be independent of the others but build upon a common theme that explores one aspect of Oceania. A detailed course syllabus and schedule will be distributed to students on the first day of class.

Readings : There will be no assigned textbook for this course but readings, however, will be drawn from various academic and popular sources and be made available to students for photocopying. In addition, students will be expected to draw on original sources to complement course materials.

試 験：Two multiple-choice tests

米 国 政 治 経 済 論	たか 高	すぎ 杉	ただ 忠	あき 明	4 単 位
					3 ~ 4 年
					前 期

南北戦争を経て国内の政治的統合を達成したアメリカは、1870年代には農業国家から工業国家へと転換し、国際社会に登場していった。この講義では19世紀後半以降、現在にいたるアメリカ近・現代史の中でアメリカ史の歴史的転換を導き出した数人の大統領を取り上げる。そして当時のアメリカ社会が直面したいくつかの重要な政治・経済問題に焦点を合わせ、その問題の解決に指導力を発揮した大統領のリーダーシップの特質、アメリカ政治・経済制度成立の過程を検討してみたい。講義の中では、アメリカの民主政治、大統領制、政党制、議会の役割、選挙制度などアメリカ政治・経済を理解する上で必要な基礎概念を適宜解説する。

試 験：(1)学期末の最後の授業で行なう試験と、(2)レポートの内容で判断する。詳細は授業の際に説明する。

テキスト名：斉藤真『アメリカ現代史』、山川出版社  
その他、授業で紹介する。

日 英 米 比 較 文 化 論 A ・ B	くろ 黒	いわ 岩	ゆたか 裕	4 単 位
				2 ~ 4 年
				前 期

この講座では、日本や欧米の比較社会論を参考にしながら、経済、社会制度、民族問題、生活、教育などにおける日英米各社会の特徴をさぐります。社会を理解することは、人や言葉を理解すること同様、非常に込み入った難しい作業ではありますが、比較の視点を導入することによって、社会に対する漠然とした理解をかなりすっきりと整理することができるものと考えます。学生一人一人が、比較の方法を利用しながら日英米の各社会に対する理解と問題意識を深め、最終的に、自分なりの日英米比較社会論を提示できるようになることを期待しています。

試 験：未定。

英 国 史	し みず ゆう じ 清 水 祐 司	4 単 位
		1 ～ 4 年
		集 中 講 義

ノルマン人の征服以降の英国の歴史を概観するが、政治史に偏重せず、社会史にも気をくばりたいと考えています。受講者は青山、今井編『概説イギリス史』（有斐閣）などを読んでおくことが望ましい。

試 験：持込可。論述式の問題 2 ～ 3 問の中から一問選択するという形の予定。

オセオニア文化実地研究		4 単位
		1～4 年
		海外研修

詳細は後日揭示する。

英国事情実地研究		4 単位
		1～4 年
		海外研修

詳細は後日揭示する。

アメリカ外交論	たか 高 すぎ 杉 ただ 忠 あき 明	4 単位
		1～4年
		前期

1989年12月のマルタ会議以降、東西冷戦は終結への確かな歩みをしるし始めた。しかし一方で、東欧諸国における社会主義体制の崩壊、ポスト冷戦の潮流のアジアへの波及、湾岸戦争、そして社会主義陣営の盟主・ソ連の崩壊など予想しがたい速さで国際関係は変化している。世界各国が冷戦の後始末と新たな国際秩序を模索する過程の中で、「冷戦の勝者」アメリカの経済力も衰退して、その政治的リーダーシップはかつてのような力強さは期待できず、世界情勢の将来は混沌として定かではない。

ポスト冷戦期のアメリカ外交のゆくえを考えるにあたり、過去から現在に至るアメリカ外交の歴史的連続性・非連続性を探ってみることは重要な作業となろう。したがって、この講義では、第一にアメリカ外交の歴史的伝統およびアメリカ外交を規制する国内的要因等を確認し、第二に第二次大戦後の国際関係史を三つの時期に分け、それぞれの時期のアメリカのソ連政策、ヨーロッパ政策、アジア政策（対日、対中政策）、そしてラテン・アメリカ政策について論じる。また第三に、国際関係論という学問を進めて行く上で必要な基礎概念についても適宜、講義の中で解説して行きたい。

試験：(1)学年末の最後の授業で行なう試験と、(2)レポートの内容で判断する。詳細は授業の際に説明する。

テキスト名：『アメリカの時代』（芦書房、1992年）

『激動期の国際政治を読み解く本』（学陽書房、1992年）

その他、授業の際に紹介する。

英 文 学 史	もり 森 た 田 まさ 正 み 實	4 単位
		1～4年
		前期

英文学史の16世紀ルネッサンス期から18世紀までを講読し、各時代の社会的・文化的背景と代表的詩人・作家・作品群について、概論的解説を加えつつ英文学思潮の流れを把握させ、英文学研究の端緒としたい。

なお、本年は、19世紀ヴィクトリア時代から20世紀に至るまでの英文学について重点的に講義する予定である。

試験：主として、期末試験と課題レポートの結果によって、評価を行なう。

テキスト名：A Short History of English Literature. 金星堂

イギリス文学講義 A・B	もり 森	た 田	まさ 正	み 實	4 単位
					2～4 年
					A 前期・B 通年

18世紀後半から19世紀に至るロマン主義文学の代表的詩人群に焦点を当て、特に、ワーズワース、コウルリッジ、バイロン、シェリー、キーツの詩想について講義し、併せて、各詩人の英詩を鑑賞すると共に、ロマン主義文学思想の現代的意義と価値について考える。

試験：主として、期末試験と課題レポートの結果によって、評価を行なう。

テキスト名：Palgrave's Golden Treasury、南雲堂

アメリカ文学講義 A	まつ 松	い 井	けい 佳	こ 子	4 単位
					2～4 年
					前期

19世紀末から現代に至る約1世紀間のアメリカ文学の中から主に短編・中編小説を鑑賞しつつ、男性像、女性像とその役割及び相互関係の変化を考察する。近現代社会の位相の複雑な多様化、断片化の進む中、男権中心主義の破綻と雁行する形で男性・女性が各々自らの座標を求め、新たな地平を模索している。それは時に自己の基盤を失う恐ろしい体験であったり、打ちのめされ、回路を閉ざされ痛みを全身でなう結果を抱いたりする。ドグマとしてではなく、もっとしなやかな契機を内包する女性原理としてのフェミニズムの立ち現れ、そしてその意義と限界にも着目したい。

テキスト名：Modern American Stories: Aspects of Love

(中村正生編・現代アメリカ短編集：愛のさまざま) 金星堂

Three Love Stories (山本晶編・アメリカ三大作家選) 金星堂

<b>アメリカ文学講義</b> <b>B・C</b>	うえにし てつ お 上西哲雄	<b>4 単位</b>
		<b>2～4年</b>
		<b>通年</b>

「冷戦文学」ということについて考えてみる。

冷戦時代が終わったといわれる。世界各地で小さな、しかし深刻な紛争が相次ぎ、時代の変化の大きさを思い知らされる。

冷戦時代とは一体何であったのか。このテーマは政治学にとどまらず、今後さまざまな分野で検討、議論が重ねられていけよう。文学においても例外ではあるまい。冷戦文学なるものがそもそも存在し得るのか。

前期では、アメリカの精神の歴史を巡って、冷戦初期の50年代から60年代前半に焦点を当てて考えてみる。

後期は、前期の講義の内容を受けて、50年代から60年代前半に作家活動を繰り広げたJ.D. サリンジャーに焦点を当てる。

ある意味で、サリンジャーほど冷戦文学という言葉がふさわしくない作家はいないだろう。登場するのは社会に背を向けた内向的な人物ばかりであり、社会的、政治的背景をその語りの表面から拾い出すのは難しい。サリンジャー研究においても、時代背景からアプローチするものは皆無に近い。

本講義では、従来とは異なった視点から、冷戦文学としてのサリンジャーを明らかにしていきたい。

試験：最初の授業で指示する。

テキスト名：授業中に指示する。

英 米 文 学 演 習	まつ 松 井 佳 子	4 単 位
		2 ~ 4 年
		後 期

アメリカ現代黒人作家として重要な位置を占めるAlice Walkerの代表作 The Color Purpleを速読・精読を併用しながら読み進める。小説の中で女性が自由と独立を追求する際に直面する様々な窮地を辿りつつ、その背景となっている現代アメリカ社会の抱える人種差別・性差別・貧困などの困難な問題にも切実な意識を動員させたい。そして又、この社会的・文化的視座を大切にしつつ、作品内部の芸術的個性の検討も行ないたい。テキスト読解の際に役に立つ批評方法の紹介も随時試みる予定である。

テキスト名：Alice Walker, The Color Purple (Pocket Book)

### 3) 中国語学科専門教育科目

<b>中国語総合講座 I</b>	かわ <b>川</b> こう <b>興</b>	しま <b>島</b> るぎ <b>栞</b>	いく <b>郁</b> いち <b>一</b>	お <b>夫</b> ろう <b>郎</b>	6 単 位
					1 年
					通 年

最初に発音の基礎を徹底的に行い、その上でテキストに基づいて文法・会話・語彙の基礎力を身につける。また、自主的な学習習慣を培うために、授業中も辞書を頻繁に引き、書き取り・聞き取りの訓練を繰り返す。

出席者は毎回必ず予習をすることが義務づけられる。

テキスト名：①最新中国語教本（上）・中華書店  
②最新中国語教本（下）・中華書店

<b>中国語作文 I</b>	かわ <b>川</b> こう <b>興</b>	しま <b>島</b> るぎ <b>栞</b>	いく <b>郁</b> いち <b>一</b>	お <b>夫</b> ろう <b>郎</b>	2 単 位
					1 年
					通 年

総合講座と平行して中国語の基礎力の修練に当たるが、作文では主として中国語の構文の習得と語彙力の強化に重点がおかれる。

テキスト名：①標準中国語作文 書籍文物流通会  
②標準中国語作文（続編） 書籍文物流通会

中国語会話Ⅰ	リン 林	ホウ 芳	4 単位
			1 年
			通 年

「言葉は生きています。生きた言語の生きた勉強を！」(言語は活着的、它随時代而变化。要把活的语言学得活。)

これをモットーに、「見る・聞く・話す・書く」技能の有機的な訓練に力をいれます。また中国語学習において日本人最大のウィークポイントである抑揚や発音、聞く力、表現力の向上に重点をおき暗記を重視します。

現役の、習ってすぐ役立つ言葉を、楽しく勉強しましょう。

テキスト名：『中・日・英対照 実用中国語会話』白水社

中国語総合講座Ⅱ	こ 児 みつ 三	だま 玉	けい 啓	こ 子	6 単位
		ま 瀧	まさ 正	みち 道	2 年
					通 年

一年の学習の成果を踏まえ、より高度の中国語の「聞く・話す・読む・書く」能力を身につけられるよう、基礎固めの総仕上げをする事を目標にしています。

週3回の講義のうち、児玉が2回、三瀧が1回担当します。プリントを適宜使用し、年に2回以上長文読解の課題があります。1コマ(2時間)につき、2課ずつ進む予定です。予習は特に音読(念)に力を入れ、計画的に自学自習しましょう。

講義の進め方の細かい指示については、開講時に説明致します。

試験：豆テスト(ヒアリング・作文) 随時。前・後期とも中間試験と期末試験。課題レポート数回。出席及び授業時の態度。

テキスト名：『最新中国語教本(下)』中華書店  
『新・中国の新聞を読もう』朝日出版社

中国語作文Ⅱ	ゴ 呉	エツ 悦	2 単位
			2 年
			通 年

以講解中国語語法为重点，強調理論聯系實際，注重分析常見病句，使學生在掌握語法理論的基礎上搞好作文實踐。

テキスト名：標準中国語作文（続編）・書籍文物流通会

中国語会話Ⅱ	ソン 孫	ゲン 玄	レイ 齡	4 単位
				2 年
				通 年

教材として北京語言学院出版の「中国語会話中級」を用いる。会話のトレーニングを中心として授業を進め、一年生の基礎の上に、語彙を増やし、中国語の語感を身につける。中国語らしい表現で、流暢に話すことを主眼とし会話の能力のレベルアップを図りたい。

試 験：前期と後期の末にそれぞれ行う。

テキスト名：中国語会話中級 香坂順一改編 光生館

中国語総合講座Ⅲ	塚本慶一 つかもと けいいち	2 単位
		3 年
		通 年

総合講座Ⅰ、Ⅱの二年間で培ったことばの基本的な四本柱「聞く、話す、読む、書く」能力を下記のテキスト等を通じて学び、さらにレベルアップし、実際に必要な総合的語学力を身につけること、ならびに、中国語をより深く理解するための中国語観を確立していくことを目標とする。

試験：成績の評価は、出席率・平常点及び前期・後期の試験等を総合して判定する。

テキスト名：①トレーニング中国語・白水社

②新聞中国語・東方書店

③中国語放送聞き取り実践教室・金星堂

中国語作文Ⅲ	賈鳳池 か ほう ち	2 単位
		3 年
		通 年

初歩中国語を終えた人を主な対象として、和文を中文に訳するという面から中級程度の実力を育成するのに役立つことを目標として、授業を行う。

試験：未定

テキスト名：中国語作文 賈鳳池 他一名・金星堂

中国語総合講座Ⅳ	リン こう 興	ろぎ 栢	いち 一	ホウ ろう 郎	2 単 位
					4 年
					通 年

魯迅の作品をはじめ、現代の文学作品、報道記事など多様な文型に接し、中国語読解力を高めつつ、中国の社会・文化・人・思想などにも理解を深めていく。同時に、卒業後すぐ実際の役に立つよう、中国語会話にも多少の時間をあてる。(林)

- テキスト名：①プリント  
 ②『ビジネス中国語会話』

中国で出版された雑誌・新聞・論文などの読解を通して、現代中国の政治・社会・国際問題などを理解することに努めます。(興栢)

試 験：別途指示します。

テキスト名：プリント、VTRなど。

中国語作文Ⅳ	つか 塚	もと 本	けい 慶	いち 一	2 単 位
					4 年
					通 年

作文Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの三年間で学んだ基本文型と現場でよく使われている常用文例（ビジネス中国語関係のものも含む）を、作文の練習（教室での発表と具体的な添削）を通じて学び、総合的かつ実用的な作文力を養成することを目標とする。

試 験：成績の評価は、前期後期の試験・レポート及びいままでの学習態度・成果を総合的判断し、加味して判定する。

- テキスト名：①中国語作文（その基本と上達）・金星堂  
 ②プリント等

広 東 語	ち しま えい いち 千 島 英 一	2 単 位
		3 ~ 4 年
		通 年

中国南方の代表的方言である広東語を特徴づけている、音韻・語彙・語法について概説し、併せて普通話との比較を試みる。更に、実務に適應できるよう作文・会話能力を養成する。

試 験：未定

テキスト名：①『香港広東語会話』（千島英一著・東方書店）

②『標準広東語同音字表』（千島英一著・東方書店）

中 国 語 学 概 論	つか もと けい いち 塚 本 慶 一	4 単 位
		2 ~ 4 年
		通 年

第一学年で総合・作文・会話の授業を通じて、中国語の基礎的学習を終え、中国語についての一定の知識と学力を身につけた段階で、あらためて中国語とはいかなる言語か、ということをも音声・文字・構造・歴史を通じて言語文化として講述する。

授業は講義形式を主とするが、一部演習形式を含めて進める。

試 験：成績の評価は、出席率・平常点及び前期後期の試験・レポートを総合して判定する。

テキスト名：①中国語のすすめ・講談社

②中国文化基礎知識・東方書店

③中国語学概論に関するプリント

中国語音韻論	さか い けん いち 坂 井 健 一	4 単位
		3～4 年
		通 年

唐作藩編著：漢語音韻学常識（新知識出版社・上海・新華書店発行）を講読する。  
 〈音韻とは何ぞや〉から始め、〈音韻学の基本概念の把握〉〈漢語古音・今音学の概要〉に  
 ふれ、更に〈音韻学〉にも講及し、最終的には普通話語音系統の来源を通時的に考察する。

試 験：《漢語音韻学常識》を中心に既習のものをテストする。

中国語史	こ だま けい こ 児 玉 啓 子	4 単位
		2～4 年
		通 年

中国は長い歴史を有する国ですが、言語の面では漢字で表記される関係で、その変化はそれほど急激という訳でもありません。

この講義では、それぞれの時代の言語資料に基づいて、現代中国語と比較しながら、文体の特徴や音韻・意義の変遷について検討して行きたいと思います。

資料は、時代の流れに従ってそれぞれ幾つか選び、プリントを使用します。中国語の歴史的な変遷を概観することによって、中国語はもとより、中国文化に対する理解を深めたいと思います。内容：上古漢語、中古漢語、中世漢語、近現代漢語より数篇。

試 験：レポートと授業時の発表、出席回数により総合的に評価します。

テキスト名：プリント

<b>中国語学特殊研究Ⅰ</b>	つかもと けい いち 塚 本 慶 一	4 単 位
		3 ~ 4 年
		通 年

今年度は「通訳演習」をとりあげ、授業を進める。

前半は基本文型をリピート、リテンション、サイトラ等の練習を通じ、通訳の基礎能力を強化する。

後半はテキスト等に沿って、各分野（政治、経済、文化等）の内容について、逐次通訳の基本訓練を行い、現場の雰囲気のみ込んでもらうようにする。

そのほか、通訳の歴史、理論についても講述する。

なお受講対象（3年生が望ましい）は開講時にペーパー・プレズメントテストを行い決定する。

試 験：成績の評価は、平常の学習態度・成果及び試験・レポートを総合的判断して判定する。

テキスト名：①日語口訳教程・商務印書館

②中国語通訳・サイマル出版会

③プリント等

<b>中国語学特殊研究Ⅱ</b>	ソン ゲン レイ 孫 玄 齡	4 単 位
		3 ~ 4 年
		通 年

本科目は听力練習の科目，以增强听力为教学目标。

以中国古典诗词中一些易懂的优秀作品为教材，用现代汉语进行讲解，在熟悉中国古典文学故事、扩大中国知识范围及汉语词汇量的同时，提高对中国话的听解能力。

本科目要求选修的学生很好地预习和复习。

試 験：前期と後期の末にそれぞれ行う。

テキスト名：プリントを教室で配布する。

中国語学特殊研究Ⅲ	ソン 孫	ゲン 玄	レイ 齡	4 単位
				3～4年
				通 年

本科目の内容は中国話の朗読，以提高口語的表現能力を教学目标。

以适合朗讀的文学作品为教材，在讲解内容的基础上，进行朗讀技术(发音、语气)的指导。通过练习，使学生在朗讀时能够做到发音清晰，语气生动。

本科目要求选修的学生多做练习，背诵所学内容。

試 験：前期と後期の末にそれぞれ行なう。

テキスト名：プリントを教室で配布する。

日 中 言 語 比 較	さくら 桜	い 井	あき 明	はる 治	4 単位
					3～4年
					通 年

日本語と中国語をさまざまな角度から比較検討し、その異同を明らかにしながら、両言語の本質的な特徴の把握に努める。

両国言語の特徴の把握は、両国の民族性や文化の理解にも通じる。言語比較の学習を通じて、日本人の中国語表現と中国人の日本語表現の留意点、またその背景にある互いの文化の特徴の把握に近づいていきたい。

夏休みには、必ずレポートを作成する。後期の授業でその成果の報告を各人が行う。

試 験：レポートと受講者全員で行う発表会の個人報告の結果で判定する。

テキスト名：プリント

中国 社会 概 説	た 田	なか 中	まさ 正	とし 俊	4 単 位
					2～4 年
					通 年

現代の中国社会の特質についての理解を深めるために、その歴史に遡って考察する。

中国社会を学問的に観察し、中国社会論とも称すべき理論を最初に展開したのは、歴史上に科学的認識の方法が初めて生まれてきた18世紀のヨーロッパにおいてであったから、歴史上の最初の中国社会論、すなわちヴォルテール、ケナー、モンテスキューなど、フランス啓蒙思潮の中国社会論から始め、アダム・スミス、マルクスの中国社会論までを通じ、旧中国の専制主義的社会体制の問題、農村共同体の問題、世界資本主義と中国市場の問題などを論ずる。

試 験：出席を重視し、かつレポートを課す。

中国 社会 原 書 講 読	た 田	なか 中	まさ 正	とし 俊	4 単 位
					3～4 年
					通 年

古典中国語で書かれた陶煦『租覈』を、昨年度に引続きテキストとし、これを現代中国語およびいわゆる漢文の読み方で読んだうえ、その一字一句の意味を、漢語・漢字の語源や系譜に遡って、克明に調べることを通じ、19世紀後半の江蘇省蘇州近郊の農村における地主制社会の歴史的 성격について徹底的に解明・討論し、共に学んでいきたいと思う。

試 験：出席と、割当てられた調査・予習にもとづく報告とを総合して、単位を与える。

中国 社会 特殊 研究	たなかまさとし 田中 正 俊	4 単 位
		3～4 年
		通 年

昨年度に引続き、中国の近代化の問題にかかわって、その経済史的前提をなす、旧中国社会における農村手工業の展開および商人資本の活躍の実態について解明する。

試 験：出席を重視し、かつレポートを課す。

中国 経済 概 説	かわむらよしお 川 村 嘉 夫	4 単 位
		2～4 年
		通 年

アヘン戦争からの中国経済史を次のように概観するが、1949年以降の現代に重点をおく。

(1)アヘン戦争と中国経済 (2)洋務運動と近代工業の生成 (3)日清戦争と半植民地経済の進展 (4)中国資本主義の成長 (5)旧農村経済と土地革命 (6)現代中国経済の展開：国営企業の形成と私営企業の改造、農村における土地改革・農業集団化・人民公社化・家族経営の変転、都市の工業化と農村工業の伸展、集権システムから分権システムへの経済改革、対外貿易と経済交流の多様化。

試 験：後期末に1回のみ行うので出席を重視する。

参 考 書：河地重蔵他『アジアの中の中国経済』世界思想社、1991年。

中国経済原書講読	かわむらよしお 川村嘉夫	4単位
		3～4年
		通年

中国の工業、農業、商業、経済改革、消費・社会生活、対外経済交流等に関する注目論文を、1993年の新聞・雑誌から選択して講読し、最新の経済・政治動向の把握につとめる。

試験：前期と後期の末にそれぞれ行う。辞書の持込み可。

テキスト名：「人民日報」、「求是」、「新華月報」、「国際貿易」等から適宜選択する。

中国経済特殊研究	かわむらよしお 川村嘉夫	4単位
		3～4年
		通年

戦後40数年来の日本と中国の経済交流史について、国際情勢あるいは両国の政治経済状況の中に位置づけながら見てゆきたい。あわせて中国の対外経済政策に関するまとまった中国語の論文も講読したい。

試験：後期末に1回のみ行うので出席を重視する。

参考書：古川万太郎『日中戦後関係史』原書房、1988年。

田中明彦『日中関係1945-1990』東京大学出版会、1991年。

中 国 史	た なか まさ とし 田 中 正 俊	4 単 位
		1 ～ 4 年
		通 年

中国語を通じ、中国の文化を学び、その教養を身につけるための重要な手がかりの一つとして、中国史を知ること、中国史について考えることが必要である。

この講義では、現代中国の社会・経済・思想を理解するための前提として、古代から20世紀までの社会・経済・思想・文化の歴史を振り返ることに努めたい。

また、歴史を視るための基本的な考え方、方法論について正確な科学的認識を持つことができるように努めることも、この講義の重要な目標である。

試 験：出席を重視し、かつレポートを課し、筆記試験をおこなう。

中国 文化 思想 概 説	なか むら ただし 中 村 義	4 単 位
		3 ～ 4 年
		※ 通 年

①19世紀末～20世紀中頃までを対象とする。

②上記の時期を通して、中国の伝統文化・思想の変容過程を西欧文化との対応を通して具体的事実を中心に学習する。

③この間の日本と中国の関係をも対象としてすすめる。

※前期は、(木) 3 - 4 限に授業を行なう。

後期は、7/26・27・28の3日間に3～8限授業を行なって後期分に充当する。

ただし、履修登録の際は「通年科目」として、通常科目記入欄に記入・マークすること。

中国政治外交概論	こう 興 ろぎ 梶 いち 一 ろう 郎	4 単位
		2～4年
		通年

本講義は、政治思想史と国際関係史の両面から近現代中国の諸問題を検討することを目標とします。

本来内政と外交は相互に関連する内因と外因であり、この二要因を同時に把握することは、現代中国の全体像を正しく理解する上で極めて重要です。政治思想史の分野では、近現代中国の代表的思想家とその代表作を紹介し、当時の国際環境との関連を検討します。国際関係史は特に日本、中国、アメリカに焦点をしばって議論を進めたいと思います。

試験：筆記試験と小論文。

テキスト名：『中国近現代史』（岩波新書）など予定。

海外華人論	さくら い あき 井 はる 明 治	4 単位
		2～4年
		通年

今日、海外華人はおおよそ二千万人いる。シンガポール、マレーシアでは、それぞれ人口の76%、35%を占め、大きな経済力を持ち、解放政策で外資導入をめざす中国に大きな影響を与えている。米国では八十万人で、大学、研究機関に進出し、対中国政策に少なからぬ影響を与えている。開放政策下に来日した中国人留学生・就学生が、今後日中関係にどのような影響をもたらすのか、注目される。海外華人の歴史を学びながら、現地国と中国との関係、将来の方向など、今日的な意義を考察して講義を進めていきたい。レポート提出を要求する。特に現地踏査レポートを歓迎する。

試験：レポートと教室における研究発表及び出欠状況を総合して判定する。

テキスト名：「もっと知りたい華僑」載国輝編 弘文堂

中国文学概論	かわしまいくお夫 川島郁夫	4 単位
		1～4 年
		通 年

本年度は、中国小説史の中で比較的早期に発生し清代に至るまで書き続けられた文語体の作品を中心に講義する。テキストは前年度と同じものを使用するが、授業では可能なかぎりプリントを配布して個々の作品に触れてもらうつもりである。

試 験：学年末にテキスト及び授業の内容について筆記試験を行なう。

テキスト名：中国小説の歴史の変遷

中国文学史	いけがみさだこ子 池上眞子	4 単位
		2～4 年
		通 年

清末から現代までを対象とする。西洋文化の衝撃に対応することから始まった中国現代文学の歩みを基本的にたどりつつ、あわせて、それらに対する問い直しの行なわれている今日の意味についても考える。可能なかぎり作品そのものにも触れるようにしたい。

テキストは特に定めませんが、授業の中で適宜参考文献や図書を紹介する。

試 験：レポートおよび平常点。

中国現代文学研究	リン 林	ホウ 芳	4 単位
			3～4 年
			通 年

王蒙、劉心武、張潔、鉄凝ほか、現代の中国文壇で活躍中の作家と作品を、時代的背景の中で捉えつつ現代中国・中国人を読む。映画化された作品は、映画も併せて鑑賞する。

中国近代文学研究	かわ 川	しま 島	いく 郁	お 夫	4 単位
					3～4 年
					通 年

明代に出版された白話短篇小説集『清平山堂話本』の中から「錯認屍」を講読する。テキストは影印本をコピーして使用する。

試 験：未定。

テキスト名：プリントを使用

中国古典講読	さか い けん いち 坂 井 健 一	4 単 位
		3～4 年
		通 年

中国古典講読として、平成4年度に引き続いて、《史記》を講読する。4年度は漢楚の争いの中心人物であった項羽本紀・高祖本紀を講読したが本年度は漢・高祖を求心とした呂后本紀・高祖をして人傑といわしめた高祖の幕下、留侯世家・蕭相国世家・淮陰侯列伝を講読する。

試 験：演習形式で各自に分担、講読させる。それをもって評価、試験に代える。

4) スペイン語学科専門教育科目

スペイン語総合講座 I	みや 宮 ほん 本	ぎ 城 だ 田	・	うり 瓜 や ぎ 柳	たに 谷 ぬま 沼	6 単 位
						1 年
						通 年

スペイン語の発音・文法・読解を互に関連づけながら、徹底した演習を通して〈読む・書く・話す〉総合的能力を養成する。

試 験：筆記試験を随時実施する。

- テキスト名：1. CURSO ELEMENTAL DE ESPAÑOL（新初級スペイン文法）、大学書林  
 2. Gramática del Español Moderno（現代スペイン語文法）白水社  
 3. 読本（開講時に知らせる）

スペイン語作文 I	やぎ 柳 と 戸	ぬま 沼 かど 門	こ う い ち ろ う 孝 一 郎 か ず え い 衛	2 単 位
				1 年
				通 年

総合講座 I の学習内容と進度に合わせ、日本語とスペイン語の文構造の相違点を比較検討しながらスペイン語による表現能力を養成する。

試 験：筆記試験を随時実施する。

テキスト名：プリント

スペイン語会語 I	ÁNGEL BRAVO MARÍA YOLDÍ	4 単位
		1 年
		通 年

この授業の目的は文法と動詞の複雑な語尾活用に馴れてもらうことにあります。練習はテキストの練習問題を通して行います。また毎授業で動詞の語尾活用の小テストを行います。

Este curso está orientado a familiarizar al alumno con la gramática y las dificultades de los cambios verbales. Los ejercicios serán los del texto. Para la práctica de los verbos se harán pequeñas pruebas en cada clase.

試 験：前期、後期

テキスト名：Español 2000 (Nivel elemental)

スペイン語総合講座 II	ほんだ やぎぬま とかど 本田・柳沼・戸門 YOLDÍ・NAVÁRRO	6 単位
		2 年
		通 年

スペイン語総合講座 I で習得した基礎文法事項をさらに深化させ、スペイン語の実際的な言語運用能力を高めることに重点を置く。並行して読解力と表現力の向上をはかる。

試 験：前期・後期各々に筆記試験を実施する。また適時スモールテストも実施する。

テキスト名：Manual Universitaria (現代スペイン語教本 I, II) 大学書林

スペイン語作文Ⅱ	ほんだせいじ 本田誠二	2 単位
	マリアヨルディ MARÍA YOLDÍ	2 年
		通 年

一年次に習得した基礎を再度確認し応用しながら、日本語とスペイン語の文構造・ニュアンスの違いを考えてスペイン語で表現する、つまり実践的にスペイン語で書く能力を養う。

試験：前期、後期二回実施する。

テキスト名：プリント

スペイン語会話Ⅱ	ソコorroミサワ SOCORRO MISAWA	4 単位
	マリアロドリゲス MARÍA RODRÍGUEZ	2 年
		通 年

Los objetivos del curso son :

1. Desarrollar la capacidad de los estudiantes para comunicarse oralmente.
2. Enriquecer su vocabulario
3. La participación activa de los alumnos en la clase

試験：Durante el curso se harán pequeños exámenes y al final el alumno eligirá algún tema que presentara en la clase

texto : R.Fente y E.W.Alonso. Orbita 2. SGEL

スペイン語総合講座Ⅲ	ĂNGĚĹ ĔĂĂĂ	2 単位
		3 年
		通 年

本授業は学生の文法的知識を深めると共に、簡単なテキストの読解力を高め、かつスペイン語の会話力を養成することを目的とする。

試 験：前期末および後期末にそれぞれ筆記試験を行う。

テキスト名：Español 2000 (Nivel Intermedio)

### GRAMATICA ESPAÑOLA Ⅲ

El proyecto de este curso es que el alumno profundice la gramática, amplíe la comprensión de la lectura de textos breves; y que, colateralmente, practique la comunicación en español.

スペイン語作文Ⅲ	戸 門 一 衛	2 単位
		3 年
		通 年

外と内に向けた国際化が進行する今日、日本のさまざまな事象について外国語で適確に説明しうる能力が問われている。本講義では、日本に関するテーマにつき与えられた文章の和文西訳とそれに対する自分の意見を表現する力を養成する。予習は不可欠である。

試 験：前期、後期とも筆記試験を行う。

テキスト名：Introducción de la Composición española (スペイン語作文入門)

芸林書房

スペイン語総合講座Ⅳ	と かど かず えい 戸 門 一 衛	2 単 位
		4 年
		通 年

最終学年の総合講座として（すなわち、大学での学習集大成として）、これまでに学んだ語学力を駆使して、新聞、雑誌、本、ビデオ、映画など「生きた教材」を通じ「いま、まさに使われているスペイン語」、「ホットな話題」について学習する。教室内でのディベートを歓迎する。

試 験：出席重視。筆記試験、口頭試験、スペイン語レポート等、多角的に評価する。

テキスト名：プリント配布、ビデオ放映、等

スペイン語作文Ⅳ	ĂNGEL BĂRĂVŎ	2 単 位
		4 年
		通 年

本授業は日本語を自然なスペイン語に翻訳する能力を養成し、かつスペイン語の基本的な表現と言ひ廻しに馴れさせることを目的とする。

試 験：学年末に小試験を行う。ただし欠席の多い者については、年間を通じて4回試験を行う。

テキスト名：スペイン語作文の基礎（白水社発行）

#### COMPOSICION ESPAÑOLA IV

Este curso tiene como finalidad que los alumnos traduzcan del japonés al español con cierta libertad y naturalidad, al mismo tiempo que se familiarizan con algunas expresiones y giros básicos de la lengua española.

Se recomienda la asistencia y la participación en la clase, ya que para los ausentes se realizarán 4 exámenes especiales.

Texto: Bases de la composición española

スペイン語学概論	みやぎのほる 宮城 鼻	4 単位
		2～4年
		通年

現代スペイン語成立の過程を概観した上で、現代スペイン語の音韻、形態、とくに統語部門を重点的に概説する。

試験：学年末に、授業内容について筆記試験をする。

テキスト名：プリント

スペイン語音声学	MARIA YOLDI マリアヨルディ	4 単位
		2～4年
		通年

音声学の基礎知識に触れることから始まり、スペイン語の子音・母音の発音の仕方を音声学として体系的に理解しながら修得する。日常的なコミュニケーション、または会話のテストの練習をとおして自然なスペイン語の音声とそのイントネーションが出来るようにする。

試験：レポート

テキスト名：教科書は後で教える。

プリントも出します。

ス ペ イ ン 語 文 法 論	MARIÁ YÖLDÍ	4 単 位
		2 ~ 4 年
		通 年

スペイン語の文法各論取り扱いながら、スペイン語の文法構文分析をし、文の構造だけではなくて、文の構造と意味との関係、又は、学生にとってむずかしい文法の一つ一つの点を研究してみたいです。学生、各人がなさりたい文法の研究の指導も可能です。

試 験：レポートにします。

テキスト名：プリントを出します。

ス ペ イ ン 語 史	みやぎのぼる 宮 城 鼻	4 単 位
		2 ~ 4 年
		通 年

イベリア半島に繰り広げられたスペイン民族の歴史に触れながら、ローマ帝国の領土拡張期に同半島に移されたラテン語がどのような過程を辿って現代スペイン語に至ったか、その語彙、発音、形態、文法について概説する。

試 験：学年末に、授業内容について筆記試験をする。

テキスト名：プリント

アメリカスペイン語特殊研究	まし 岸	だい 大	すけ 介	4 単位
				3～4年
				通年

これまでややマイナーであった中南米のスペイン語を、各地域のテレビ番組を集めたビデオや現地調査で収録したインタビューなども含め実証的に紹介していく。また、分析能力を養うため、数回レポートを提出してもらう。

1. Los orígenes del español americano
2. Zonas dialectales en América
3. Fonética
  - 1) El seseo
  - 2) El yeísmo
  - 3) Otros fenómenos
4. Gramática
  - 1) La segunda persona del plural
  - 2) El voseo
  - 3) Otros fenómenos
5. Léxico
  - 1) Indigenismos
  - 2) Arcaísmos
  - 3) Anglicismos

参考図書名：José G. Moreno de Alba. El español en América. México, 1988.  
Zamora Munné & Guitart. Dialectología hispanoamericana.  
Salamanca, 1982.

試 験：前期試験 (33%) + 後期試験 (33%) + リポート数回 (34%) = 100%

商業スペイン語	みや 宮	ち 地	たつ 達	ろう 郎	4 単位
					2～4年
					通年

貿易用語の解説を中心とした実務の説明を行う。教材としては商業英語表現を使用し、それをスペイン語に翻訳することや現実に行われている企業間のスペイン語による通信文の読解も行う。最終的にはスペイン語商業信用状の英文転換、さらにその逆を行い銀行提出用の書類作成を出来るところまでのレベル達成を目的とする。使用教材は適時コピーを作成して学生に渡すこととし、特定のテキストを使用しない。その時々により新聞記事を使用することもある。

試 験：商業スペイン語、スペイン語による商業信用状の読解を主とした試験を行う。

時 事 ス ペ イ ン 語	やま ぬま こういちろう 柳 沼 孝一郎	4 単 位
		2 ~ 4 年
		通 年

スペインおよびラテンアメリカ諸国の有力紙のなかから、政治・経済・文化社会に関する記事を中心に引き上げ、時事文が持つ独特な文体表現に触れながらの読解を通して、変動する国際情勢におけるスペイン語圏諸国の動向を把握しつつ、それらの現状と諸問題への関心と理解を深める。従って新聞、テレビニュースには常日頃から留意されたい。

試 験：時事用語等のスペイン語による表記、時事文の訳読を中心とした試験を前後期に実施する。

テキスト名：プリント

ス ペ イ ン 史	たて いし ひろ たか 立 石 博 高	4 単 位
		1 ~ 4 年
		通 年

スペインは、中世盛期において三つの宗教・人種の「共生」の時代を経験したが、中世末の所謂「国家統一」の時代から、異宗教・異文化を排斥し閉鎖的の社会になっていく。この閉鎖性の故にスペインは、近代化と国民国家形成の歩みに遅れをとったと考えられる。本講義では、この点を中心にして中世後期から近代までの歴史的過程を考察したい。

試 験：前期・後期のそれぞれに小論文テストを実施する。合わせて講義に関連したレポートの提出を課す。

テキスト名：1. 立石・若松編『概説スペイン史』（有斐閣）  
2. プリント（教室で実費配布）

ラテンアメリカ史	やぎ ぬま こういちろう 柳 沼 孝一郎	4 単位
		1～4年
		通 年

以下の内容にそってビデオ・写真を観ながらラテンアメリカ諸国の歩みを概観する。

- 1) 先コロンブス期のアメリカ大陸古代文明
- 2) 旧世界と新世界の出会い
- 3) イベリア国家による植民地統治
- 4) ラテンアメリカ諸国の独立
- 5) ラテンアメリカ諸国の近代
- 6) 現代のラテンアメリカ

参 考 書：増田義郎他「ラテンアメリカ世界—その歴史と文化」世界思想社  
 国本伊代「概説 ラテンアメリカ史」新評論

試 験：設定されたテーマについてのレポートを前期・後期各々に提出すること。

テキスト名：プリント

日 西 文 化 交 流 史	うり なに りょう へい 瓜 谷 良 平	4 単位
		2～4年
		通 年

日西文化交流の源泉から始めます。16・17世紀においては両国の政治的関係は僅少であったために、初期では来日スペイン人、訪西日本人に関係した個人史、日本カトリック教会史を主とし、またスペインの旧植民地メキシコ・フィリッピンとの関係史も必然的に取り扱います。すべての文化の基礎には言語がありますので、言語の学徒としての関心から日本語・スペイン語の研究と学習の歴史にも多くの部分が割かれます。これらに織り混ぜて、互いに影響しあった文化についても歴史的な解説を行います。

試 験：レポートと出席率を参考にして成績をきめます。

現代スペインの諸問題	戸 門 一 衛 と かど かず えい	4 単 位
		2 ~ 4 年
		通 年

スペインは近年、大きく変貌している社会である。その変化の速度と幅は他の西欧諸国に比べて驚異的できえある。一例としてキーワードを挙げよう。政治面では長い独裁体制から民主主義社会への転換（1975年）、社会労働党政権の成立（1982年）が、経済面では60年代の高度経済成長、E C加盟（1986年）、E C経済通貨統合への対応が、社会面では伝統的カトリック社会からの離脱、女性の意識変化、地方自治推進による生活変化などが、指摘しうる。

本講義では、現代スペインの諸断面図を時系列的（歴史的）に、そして構造的に解説・分析する。

試 験：前期はレポートとし、後期は論述式の試験を行う。出席も重視する。

テキスト名：授業中に適宜、指示する。プリントも使用する。

ス ペ イ ン 美 術 史	SÉRGIO NAVARRO	4 単 位
		2 ~ 4 年
		通 年

古代から20世紀に至るまでのイベリア半島（スペイン及びポルトガル）の美術史入門。各々の時代の代表的な絵画、彫刻、建築の特徴を時代背景と共に概説。（スライド付）

ラテン・アメリカの美術史についても触れる予定。

（用語は平易なスペイン語）

試 験：レポート提出

テキスト名：プリント使用

メキシコ特殊研究	SOÇORRŌ MISÄWÁ	4 単位
		2～4年
		通年

この科目の主な目的は、メキシコの文化・歴史を概観することです。具体的には、メキシコの先コロンブス期、植民地時代、独立時代にわたる歴史の大きな流れを学び、又、各時代の様々な面から代表的な美術、建築、宗教、思想、習慣等を選んで、参加者と共に考察したいと思います。

講義や会話は、スペイン語で行ないます。スペイン語を実際に使って、会話や作文の能力を向上したい学生を歓迎します。また、クラスでは、ビデオやスライドを利用する予定です。

試験：セミナー方式：各学生がそれぞれテーマを選んで、調査をし、クラスで発表をする。

テキスト名：プリント用意

# スペイン・ラテンアメリカ思想史

アングエル・ブラボ

4 単 位
3 ~ 4 年
通 年

本授業はラテンアメリカ諸国の歴史的、文化的、政治的發展を左右してきた哲学者理論の概要を学生に習得させ、かつ現代スペインの最も重要な思想家の再検討を行うことを目的とする。

授業の進め方：

- 1) 与えられた教材を講読する。
- 2) 学生は思想、文化または歴史に関するテーマについてレポートを作成し、それを教室で発表しなければならない。

試 験：学年末にレポートを提出させる。

テキスト名：プリント

## HISTORIA DEL PENSAMIENTO ESPAÑOL Y LATINOAMERICANO

El presente curso está orientado a que los alumnos adquieran algunas nociones de las teorías filosóficas que han condicionado el desarrollo histórico, cultural y político de los países latinoamericanos. Así como, una revisión de los pensadores españoles contemporáneos más importantes.

DESARROLLO DE LA CLASE:

- 1) Lectura de la clase en fotocopias que serán suministradas.
- 2) El alumno tendrá que hacer un informe sobre un tema relacionado con el pensamiento, la cultura o la historia, y exponerlo en la clase.

Texto : Fotocopias

スペイン・ラテンアメリカ 文化特殊研究	ÁNGEL BRAVO	4 単位
		3～4年
		通 年

この授業の目的はスペインおよびラテン・アメリカの文学、思想、映画、できれば絵画や彫刻などの分野にわたる文化的な概観についての知識を学生に習得させることにある。

授業はセミナー形式をとる。

- 1) 学生は自分が選んだ作者について、スペイン語でレポートを作成し、それを発表しなければならない。
- 2) そのあとで、同作者の作品を読んだり、鑑賞したりする。

Texto : Forocopias.

試 験 : 学年末にレポートを提出させる。

テキスト名 : プリント

CURSO DE CULTURA ESPAÑOLA Y LATINOAMERICANA

Este curso pretende que los alumnos adquieran algún conocimiento de las figuras principales del panorama cultural, tanto en España como en Ibero-América, en los campos de: literatura, pensamiento, cine y, de ser posible, pintura y escultura.

DESARROLLO DE LA CLASE :

- 1) El alumno tendrá que hacer un informe y leerlo sobre el autor que haya elegido.
- 2) Luego se leerá o se verá algo de dicho autor.

ス ペ イ ン 経 済 論	戸 門 一 衛	4 単位
		3～4年
		通 年

前半では後発工業国としてのスペインにおける資本主義の形成・確立のプロセスを分析し、その特徴を解明する。後半ではスペインの経済・産業構造とその変化について考察する。前半の史的分析と後半の構造分析をそれぞれタテ糸、ヨコ糸として、両者が織り成すスペイン経済という「布」を理解する。それは、世界経済や日本経済の諸問題を理解する上でも重要な視座となる。経済の基本的概念や用語については適宜、説明を行うが、受講にあたっては経済の基礎知識を持っていることが望ましい。

試 験 : 前期はレポート、後期は論述式の試験を行う。

テキスト名 : 石井陽一・戸門一衛『スペインーその国土と市場』科学新聞社  
時にスペイン語文献のプリントを使用する。

ス ペ イ ン 文 学 史	ほん だ せい じ 本 田 誠 二	4 単 位
		2 ~ 4 年
		通 年

中世スペイン最古の叙事詩『わがシッドの歌』より黄金世紀のセルバンテス、ロペ・デ・ベーガ、カルデロンにおよぶ約五世紀のスペイン文学を概観することを目的とする。本年は中世から16世紀前半のルネサンスまでを講義と原文講読を併行して行なう予定。

試 験：レポートによる。

テキスト名：プリント

現 代 ス ペ イ ン 文 学	き た のぶ たか 喜 多 延 鷹	4 単 位
		3 ~ 4 年
		通 年

現代スペイン文学を代表する7人の作家の作品の抜粋を読む。各自好きな作家を深く研究するための糸口になればと願っている。

試 験：前-後期2回に分けて行う。適時レポートを課す。

テキスト名：Narrativa española de postguerra

(スペイン現代小説選=芸林書房) . = 編者・東谷頼人

現代ラテンアメリカ文学	くわ 桑 な かず ひろ 名 一 博	4 単 位
		3 ~ 4 年
		通 年

20世紀前半までの文学の流れを概観した後、代表的な現代作家の短篇小説を講読しながら、現代ラテンアメリカ文学のかかえる問題や、その小説技法について考える。

試 験：レポートと試験

テキスト名：プリント使用

ス ペ イ ン 古 典 講 読	ほん 本 た せい じ 田 誠 二	4 単 位
		2 ~ 4 年
		通 年

去年はセルバンテス『ドン・キホーテ』をゼミ形式で読んだが、本年は同じセルバンテスの牧歌小説『ラ・ガラテア』を講読する予定。なお授業は十分な予習を必要とし、出席を重視する。通常授業を評定基準とするので試験はおこなわない。本年は『ラ・ガラテア』に限定するが、授業を通じてスペイン牧歌文学全般に対する理解を深めるべく努める。

試 験：平常点と課題による評価。

テキスト名：プリント

ラテンアメリカ文学特殊研究	桑名一博 <small>くわ な かず ひる</small>	4 単 位
		3 ~ 4 年
		通 年

本年度は19世紀のラテンアメリカ文学を扱う。つまり、《Facundo》と《Martin Fierro》にはじまって、Modernismoが講義の中心となるだろう。プリントを使用して、できるだけ講読を行う予定である。

試 験：レポートと試験

テキスト名：プリント使用

5) 韓国語学科専門教育科目

韓国語総合講座 I	かん の ひろ おみ 菅 野 裕 臣 はま の うえ みゆき 浜之上 幸	6 単 位
		1 年
		通 年

2 学期までにはほぼ韓国語の音声・文字・文法の基礎を終え、さらにやさしい読み物の読解に進む。

試 験：随時試験を行なうほかに、ひんばんに単語テストを行なう。

テキスト名：『朝鮮語の入門』（白水社）、『朝鮮語を学ぼう』（三修社）、『韓国語初級読本』、  
『コスモス朝和辞典』（白水社）

韓国語作文 I	はま の うえ みゆき 浜之上 幸	2 単 位
		1 年
		通 年

文法の知識を確実にする目的でやさしい和文韓訳の練習をつみかさねる。

試 験：随時試験を行なう。

テキスト名：『朝鮮朝鮮語－文法と作文－』（白帝社）

韓国語会話 I	キム イ 李	ドン 東 丞	ジュン 俊 宰	4 単位
				1 年
				通 年

テキストや録音テープなどを用いて、聞き取り、書き取り、発音の練習を徹底的に行なう。特に、テキストに沿って、基本語彙と基本文型を覚えて、基本的な日常会話ができるようにする。

試験：平常時の成績と各期末試験の成績を合算して、評価する。

テキスト名：『韓国語入門』（金東俊著），『基礎朝鮮語－会話編－』（白帝社）

韓国語総合講座 II	はまなか 濱中 と 土佐昌樹	のぼる 昇・	かんのひろおみ 菅野裕臣	6 単位
				2 年
				通 年

語彙と文法の知識を整理しながら種々の読み物の読解を行なう。

試験：随時試験を行なうほかに、ひんばんに単語テストを行なう。

テキスト名：『韓国語初級読本』、プリント

韓国語作文Ⅱ	はまのうえ 浜之上	みゆき 幸	2 単位
			2 年
			通 年

文法的な諸形式の用法・基礎的な語彙の用法を中軸に据え、日本語との類似点・相異点に着目しつつ、和文韓訳の練習を積み重ねる。

試験：随時試験を行なう。

テキスト名：プリント

韓国語会話Ⅱ	キム イ 李	ドン スン 丞	ジュン ジュ 宰	4 単位
				2 年
				通 年

場面中心に話題をとりあげて語の運用、語尾の活用、文のつながりなどを重点的に学習して、自然な対話ができるようにする。

会話ではさまざまな縮約形や慣用句が使われ、かつ、場面によって多種多様の文末表現があるので、これらに慣れるように練習を重ね、聴取能力、発話能力を向上させる。

試験：平常時の成績と各期末試験の成績を合算して、評価する。

テキスト名：『スタンダード・ハンゲル講座①』（会話編）（大修館書店）、『基礎朝鮮語－会話編－』（白帝社）

韓国語総合講座Ⅲ	はまのうえ 涙之上	みゆき 幸	2 単 位
			3 年
			通 年

文学作品を主たる対象として、言語学的に解析しながら厳密に読み進む。

試 験：随時試験を行なう。

テキスト名：プリント

韓国語作文Ⅲ	キム 金	ドン ジュン 東 俊	2 単 位
			3 年
			通 年

日本語のさまざまな表現形式に相当する韓国語の表現形式を学習する。これをひととおり学習した後、翻訳しやすい日本語を韓国語に翻訳する練習をする。

このような練習を積み重ねることによって、日本語と韓国語の違いをおのずから分かるようにする。

試 験：授業中の成績と各期末試験の成績を合算して、評価する。

テキスト名：『スタンダード・ハングル講座④』（作文編）（大修館書店）

韓国語総合講座Ⅳ	はまのうえ 浜之上	みゆき 幸	2 単 位
			4 年
			通 年

高度な文章を正確に読みこみ、韓国語の香りにまで触れる。

試 験：随時試験を行なう。

テキスト名：プリント

韓国語作文Ⅳ	キム 金	ドン ジョン 東 俊	2 単 位
			4 年
			通 年

いろいろな文体の日本語を韓国語に翻訳する練習を積み重ねて、翻訳能力を向上させる一方、韓国語で発想し、自然な韓国語が、口頭でも文章でも表現できるようにする。特に、書簡文の形式が日本語と韓国語とは違うので、私・公の通信文の作成練習などをも行う。

試 験：授業中の成績と各期末試験の成績を合算して、評価する。

テキスト名：プリント

韓 国 語 学 概 論	イ 季                  スン 丞          ジュ 宰	4 単 位
		2 ~ 4 年
		通 年

主として現代語の語彙の諸相（同義語、対立語その他）を中心に講義をすすめる。講義は韓国語で行なう。

試 験：語彙テストを中心に随時行なう。

テキスト名：プリント

韓 国 語 音 声 学	イ 季                  スン 丞          ジュ 宰	4 単 位
		2 ~ 4 年
		通 年

韓国語の音声の分析からはじめて音韻論に到る。講義は韓国語で行なう。

試 験：韓国語音声の声への慣れをためすためのヒアリングを中心に行なう。

テキスト名：プリント

韓 国 語 文 法 論	イ 季 スン 丞 ジュ 宰	4 単 位
		2 ~ 4 年
		通 年

韓国語の文法論の基礎を解説する。講義は韓国語で行なう。

試 験：用言の活用を中心に随時行なう。

テキスト名：李翊燮、任洪淋「国語文法論」学研社、ソウル

韓 国 語 学 特 講	イ 季 スン 丞 ジュ 宰	4 単 位
		3 ~ 4 年
		通 年

特に吏読について講義する。講義は韓国語で行なう。

試 験：未定

時 事 韓 国 語	キム 金 ドン 東 ジョン 俊	4 単 位
		3 ~ 4 年
		通 年

韓国の主要新聞の論説文（社説）、政治・経済・社会等各分野にわたる論文・記事などを読み、ソウルで放送されるTV・ラジオなどを視聴しながら、見聞したことについて意見を述べる形で授業を進める。これによって韓国の現状を理解するようにする。

試 験：授業中の成績と年度末試験によって評価する。

テキスト名：プリント

韓 国 史 概 論	はま 濱 なか 中 のぼる 昇	4 単 位
		2 ~ 4 年
		通 年

韓国史の主要な舞台である韓半島においては、その自然が人間の歴史をどのように条件づけたか。また、中国を中心とした東アジアの諸種族・諸民族・諸国家の動向が、韓国史の展開をどのように条件づけたか。これら2点に留意しながら、韓民族の形成とその歴史的展開を跡づけようと思う。

試 験：原則として、前期および後期の、それぞれ最後の授業において行なう予定です。

テキスト名：金両基監修『図説・韓国の歴史』（河出書房新社）

日 朝 関 係 史	はま 濱	なか 中	のぼる 昇	4 単 位
				3 ~ 4 年
				通 年

前近代の日本にとって、韓国（朝鮮）とは何であったか。このような観点から、日朝関係史上の次のような問題を取り上げる。

イ. 古代日本の国家形成と韓国（朝鮮）、ロ. 文永・弘安の役、ハ. 倭寇、ニ. 室町時代の日朝貿易、ホ. 文禄・慶長の役、ハ. 江戸時代の日朝貿易。

これらのテーマを考えるに当たって、次の点に留意したい。一つは、東アジア全体を視野に入れることであり、他は、前近代の韓国（朝鮮）にとって日本とは何であったか、という観点をも念頭に置くことである。

試 験：原則として、前期および後期の、それぞれ最後の授業において行なう予定です。

韓 国 近 代 史	クオン 権	ヒョク 赫	テ 泰	4 単 位
				3 ~ 4 年
				通 年

1876年から1945年までの韓国近代史の流れを、「韓国近代の特殊性」に留意しながら通史的に講義する。

そのさい、韓国内での近代・反近代、外勢と反外勢をめぐる諸政治勢力の葛藤や指向点が、外圧に直面し、どのように歪曲・屈折して行ったかに注目したい。

試 験：レポートと論述試験

テキスト名：なし

韓 国 史 特 講	はま 濱 なか 中 のほる 昇	4 単 位
		3 ~ 4 年
		通 年

韓国前近代の姓氏制度や本貫制度、そして家族制度や村落制度について、研究論文を紹介することを通して考えてみたい。前半では、主として高麗・李氏朝鮮時代の戸籍を扱った研究を紹介し、後半では、正倉院所蔵のいわゆる新羅村落文書をめぐる諸研究を紹介する。

試 験：原則として、前期および後期の、それぞれ最後の授業において行なう予定です。

韓 国 の 政 治 経 済	クオン 権 ヒョク 赫 テ 泰	4 単 位
		1 ~ 4 年
		通 年

1945年から1980年までの韓国現代史の動向を政治（政治システム、イデオロギー、運動）と経済（開発と民衆包摂）を中心にみる。

試 験：レポートと論述試験

テキスト名：なし

韓国文化概論	と さ ま さ き 土 佐 昌 樹	4 単 位
		1～3年
		通 年

韓国文化の特徴について、文化人類学的な視点から講義します。

試 験：未定

韓国文化特講	と さ ま さ き 土 佐 昌 樹	4 単 位
		3～4年
		通 年

映像資料などを用いながら、急速に変化しつつある韓国の都市と農村の日常生活について、文化人類学的視点からその特徴を明らかにする。

試 験：未定

日 韓 比 較 文 化 論	と 佐 昌 樹 と さ ま さ き	4 単 位
		1 ~ 4 年
		通 年

日韓の文化を文化人類学の立場から批判的に比較・研究する。

試 験：未定

韓 国 言 語 文 化 概 論	なり さわ まさる 成 澤 勝	4 単 位
		2 ~ 4 年
		通年(隔週)

主たる対象は文学であるが、しかしそれだけでなく、言語に拠って成り立つ文化として思想も扱う。また韓国語の電算機処理についても解説を試みたい。

具体的には、「薔花紅蓮伝」の現代語訳を読みすすめながら、この作品を支えるエトスについて考えていきたい。

試 験：電算機のハンゲル出力機能を用いて、韓国語によるレポート提出を課す。

テキスト名：プリント

韓 国 文 学 史	なり 成	さわ 澤	まさる 勝	4 単 位
				2～4 年
				通年(隔週)

前期は詩歌文学、後期は叙事文学について通史的解説を施す。中でも発展史として捉えることは可能なかどうかを一緒に考えていきたい。

また古典的作品の紹介に重点を置き、近隣諸文化圏の文学とどのように異なるかにも注目したい。

試 験：前期は時調を中心にしたペーパー試験、後期は電算機ハンゲル出力によるレポート。

テキスト名：『朝鮮文学史講義箋』（プリント）

原 書 講 読	キム 金	ドン 東	ジョン 俊	4 単 位
				2～4 年
				通 年

韓国で発行された随筆集・小説など、代表的な現代文芸作品を精読し、読解力を向上させる。

試 験：授業中の成績と年度末試験で評価する。

テキスト名：プリント

### 〔3〕教職科目

〔平成2年度以降の入学者のみ履修可能〕

教育原理 A・B	沼野 一男 <small>ぬまのいちお</small>	2 単位
		2 年
		前 期

教職を志すものの基礎的能力の習得を目標として、現代の学校教育に関する諸問題を考察する。具体的には、教育と学習、学校教育と生涯学習、教育の方法、職業としての教師という問題を取り上げるが、詳しい授業スケジュールは最初の時間に配布する。

なお、教育に対する興味・関心の喚起と学習方法の習得を重視して、テキストによる自学と教室での質疑応答によって授業を行なうので、それに耐えられる意欲のある学生の受講を希望する。

試 験：期末試験は行なわない。

テキスト名：① 沼野一男他「教育の原理」学文社  
② 沼野一男 「情報化社会と教師の仕事」国土社

教育心理学 A・B	田原 俊司 <small>たはらしゅんじ</small>	2 単位
		2～3年
		前 期

本講義は、1) 生徒の諸問題（非行、校内暴力、「いじめ」、不登校、高校中退、薬物乱用など）の現状と特徴、2) 諸問題を引き起こすに際して生徒に生じる心理的メカニズム、3) 生徒の諸問題に対する取り組みの基本的視点、3) 具体的指導方法・対策の検討を通して、生徒の精神発達のメカニズム・発達段階を理解することを目指している。

試 験：レポート試験を実施する。

テキスト名：いじめ相談室——ベテラン教師からのメッセージ—— 田原俊司（編著）1991  
八千代出版

コンピュータの教育利用 A・B	た はら しゅん じ 田 原 俊 司	2 単 位
		2 ～ 4 年
		前 期 ・ 後 期

本講義は、前期と後期で実施する内容が異なるので注意すること。前期は、コンピュータのプログラム言語の一つであるC言語の基本的習得が到達目標である。自分の作ったプログラムをパソコン上で動かすことができるようになることを目指す。後期は、C言語を用いて、推測したり予測したりするための統計的方法について検討し、データを解析することを目的とする。講義内容として、確率モデル、確率分布、標本分布、統計的推論、検定と推定の実際などの統計が中心となる。C言語の基本的操作ができない者は、前期から聴講すること。

試 験：プログラムの作成による試験を実施する。

テキスト名：100万人のC言語（上・下）高作義明 技術評論社 1990.

[平成元年度以前の入学者のみ履修可能]

教育原理 A・B	沼野一男	4 単位
		2 年
		通 年

教職を志すものの基礎的能力の習得を目標として、現代の学校教育に関する諸問題を考察する。具体的には、教育と学習、学校教育と生涯学習、教育の方法、職業としての教師という問題を取り上げるが、詳しい授業スケジュールは最初の時間に配布する。

なお、教育に対する興味・関心の喚起と学習方法の習得を重視して、テキストによる自学と教室での質疑応答によって授業を行なうので、それに耐えられる意欲のある学生の受講を希望する。

※ 前期「教育原理」と、後期「教材開発論」または「教育工学」の2科目を合わせて「教育原理」4単位として単位を認定する。

試 験：期末試験は行なわない。

テキスト名：① 沼野一男他「教育の原理」学文社

② 沼野一男 「情報化社会と教師の仕事」国土社

教育心理学 A・B	田原俊司	4 単位
		2～3年
		通 年

本講義は、1) 生徒の諸問題（非行、校内暴力、「いじめ」、不登校、高校中退、薬物乱用など）の現状と特徴、2) 諸問題を引き起こすに際して生徒に生じる心理的メカニズム、3) 生徒の諸問題に対する取り組みの基本的視点、3) 具体的指導方法・対策の検討を通して、生徒の精神発達のメカニズム・発達段階を理解することを目指している。

※ 前期は「教育心理学」、後期には「青年心理学」を受講すること。2科目を合わせて「教育心理学」4単位として単位を認定する。

試 験：レポート試験を実施する。

テキスト名：いじめ相談室——ベテラン教師からのメッセージ—— 田原俊司（編著）1991  
八千代出版

教 育 評 価 A・B	た 田 は 原 し ゚ん じ 司	2 単 位
		2～4 年
		前 期・後 期

本講義は、前期と後期で実施する内容が異なるので注意すること。前期は、コンピュータのプログラム言語の一つであるC言語の基本的習得が到達目標である。自分の作ったプログラムをパソコン上で動かすことができるようになることを目指す。後期は、C言語を用いて、推測したり予測したりするための統計的方法について検討し、データを解析することを目的とする。講義内容として、確率モデル、確率分布、標本分布、統計的推論、検定と推定の実際などの統計が中心となる。C言語の基本的操作ができない者は、前期から聴講すること。

試 験：プログラムの作成による試験を実施する。

テキスト名：100万人のC言語（上・下）高作義明 技術評論社 1990.

〔全学生対象〕

青年心理学 A・B	た 田 はら しゅん じ 原 俊 司	2 単 位
		2～4 年
		後 期

本講義は、児童・生徒がかかえている諸問題をロール・プレイ（役割演技）やカウンセリングを中心に検討することを目的としている。理論と実習の二つの部分から構成されることになる。具体的な講義内容としては、1）来談者中心療法、ゲシュタルト療法、論理情動療法などカウンセリングの紹介、2）マイクロカウンセリングを中心とする技法の紹介と習得、3）テープ等による生徒指導場面の検討などを行う予定である。

試 験：レポート試験を実施する。

テキスト名：いじめ相談室——ベテラン教師からのメッセージ—— 田原俊司（編著）1991  
八千代出版

教 育 行 政 学	お か ばやし たかし 岡 林 隆	2 単 位
		2～4 年
		前 期

現代の社会は、法律がもとになって動いている。一見関係がないように思われる教育でも、その背景には、法律、行政の制度があって毎日の教育活動が行われている。これらについての基本的な知識を身につけて初めて良き教育者となることが出来る。そこに教育行政や教育法規を学ぶ必要性が出てくる。

講義では、学校教育に必要な基礎的な法律、制度の仕組みを中心に、具体的な問題にも触れ、教育行政についての体系的な知識の修得を目指すことにする。

試 験：「教育委員会と学校」又は「教育課程の編成と学習指導要領」についての論文一題と択一あるいは穴埋め問題を一題（計2題）考えていますが、学生の理解の状況を見て、最終的に決めたいと思います。

テキスト名：霜鳥秋則著「テキスト教育行政入門」第一法規出版、菱村幸彦著「やさしい教育法規の読み方」教育開発研究所、「教育関係法令集」（第一法規、学陽書房、ぎょうせい等から出版されているので、そのうちどれでもよい。）

教 育 社 会 学	あら 荒 井 昭 雄	2 単 位
		2 ～ 4 年
		後 期

教育社会学の基礎理論を学び、現代教育の諸問題を教育社会的視点から分析し、教育の社会的使命と役割について考えさせ、教員になるための資質を育成する。講義内容は、。教育社会学の理論、。学校教育の発達と拡大、。学歴社会、。問われている学校教育、。教師たちの現在、。現代家庭と子どもの教育、。現代社会の中の青少年、。教育改革の方向一生涯学習論を中心に、を考えている。

講義と課題発表・討議を併用する。

参 考 書：E・デュルケム、佐々木訳「教育と社会学」（誠信書房）

J・カラベル、A・Hハルゼー、潮木他訳「教育と社会変動（上・下）」東大出版。（他はその都度紹介する。）

試 験：90分の定期試験（中間・期末）及びレポート（1～2回）で評定を行う。

テキスト名：新堀道也・加野芳正著「教育社会学」玉川大学出版部

教 育 工 学	ぬま 沼 の 野 一 男	2 単 位
		2 ～ 4 年
		後 期

現代の科学と技術の進歩は、さまざまな新しい教育の方法とそれに利用される多様な教育メディアを生み出している。この授業では教授工学の理論を紹介するとともに、それに基づく授業設計の理論と技術、授業の展開、教育メディア、教育におけるコンピュータ利用、教育の評価等を取り上げる。

詳しい授業スケジュールは最初の時間に配布するが、授業はテキストによる自学と教室におけるVTRの視聴および質疑応答を重視するので、意欲のある学生の受講を希望する。

試 験：期末試験は行なわない。

テキスト名：① 沼野一男他「教育の方法・技術」学文社

② 沼野一男 「情報化社会と教師の仕事」国土社

教材開発論	沼野一男	2 単位
		2～4 年
		後 期

詳しい授業スケジュールは最初の時間に配布するが、この授業では授業設計の目的、意義、技術について学ぶ。また、具体的な授業を想定して授業目標の明確化、目標行動の論理分析、コースアウトラインの決定、教授フローチャートの作成、教材の作成等の演習を行なう。

演習は2～4名のグループで行うが、希望するグループはC A IのコースウェアのSCRIPT（台本）の作成に挑戦することもできるので、実践的な興味のある学生の受講を希望する。

試 験：期末試験は行なわない。

テキスト名：① 沼野一男他「教育の方法・技術」学文社

② 沼野一男 「情報化社会と教師の仕事」国土社

英語科教育法 A・B・C	佐々木輝雄	4 単位
		3 年
		通 年

前期は、我が国の英語科教育課程の歴史を追いながら英語教育の変遷を理解し、具体的な指導法の移り変わりを知り、これからの英語教育の在り方を探る。後期は、指導の背景の理論を大切にしながら、より実践的な学習指導を考える。具体的には、各領域ごとの学習指導案と全体の学習指導案を中学校及び高等学校別に、実際の教科書教材に基づいて演習を中心に具体的に考える。

前期及び後期を通じて、密接な関連をもたせながら、各種の理論に基づいて具体的な指導を体験的に理解し、英語教育の将来を展望する。

試 験：学習指導案などのレポート提出を主とし、後期定期テストで総括的な試験を行う。

テキスト名：「新旧学習指導要領の対比と考察」佐々木輝雄著

「中学校指導書－外国語編」文部省

「高等学校学習指導要領解説－外国語・英語編」文部省

テキストの他にプリントを使用する。

中国語科教育法	児 <sup>こ</sup> 玉 <sup>たま</sup> 啓 <sup>けい</sup> 子 <sup>こ</sup>	4 単位
		3 年
		通 年

中国語は、これまでも高校の第二外国語の選択科目として、少数の学校で学ばれていましたが、最近では第一外国語として選択できる学校も徐々に増えてきました。

本講義では、学校現場における中国語教育のあり方を模索し、実際に教職を志望する皆さんと共に、次の点について学んで行きたいと思います。

(1)日本における中国語教育の歴史、(2)中国語教育法の変遷、(3)中国語教育の目標と課題、(4)学習指導案作成（教材、教材研究－発音・語彙・文法）、(5)模擬演習、(6)評価及び測定、(7)今後の展望

試験：各時間の教科内容に従って、毎回レポートを課す。授業時の口頭発表の点数と課題提出の点数で総合的に評価する。

テキスト名：参考資料を講義時に指示します。

スペイン語科教育法	瓜 <sup>うり</sup> 谷 <sup>たに</sup> 良 <sup>りょう</sup> 平 <sup>へい</sup>	4 単位
		3 年
		通 年

高等学校の生徒を対象としたスペイン語科教育法を講義と模擬教授実習を通じて指導します。

試験：毎回の予習を成績とし、期末試験は行ないません。

テキスト名：Lecturas para Empezar（楽しいスペイン語文法読本）  
宮本博司著 大学書林発行

韓国語科教育法	かん の ひろ おみ 菅 野 裕 臣	4 単 位
		3 年
		通 年

まず韓国語教授における「初歩」とは何かについて考え、ついでその内容の構造について考え、次に既製の入門書の構造について批判を加え、最終的に自己の教案を作成する。

試 験：自己の教案の作成をもって試験にかえる。

テキスト名：プリント

道徳教育の研究 A・B	あら い てる お 荒 井 昭 雄	2 単 位
		2～3年
		前 期

道徳教育の現状は必ずしも十分ではないと批判されている。子どもの発達を阻害する深刻な教育状況の分析の上に立ち、学校における道徳教育をどう進めたらよいかを、国際社会に生きる日本人としての在り方、人間としての生き方の問題として捉え、学生諸君と共に追求していきたい。内容としては、。道徳教育とは何か、。道徳教育の歩み、。道徳の本質と道徳教育、。学校における道徳教育、。道徳教育と家庭及び社会、。諸外国の道徳教育、。道徳教育と教師、。道徳教育の今後の課題等。各人1テーマ分担し研究発表、補足講義。

試 験：90分の定期試験（中間・期末）及びレポート（1～2回）で評定を行う。

テキスト名：倉田侃司・山崎英則編著「新しい道徳教育——一人ひとりの生き方を問う——」  
ミネルヴァ書房  
文部省「中学校指導書、道徳編」大蔵省印刷局

特 別 活 動 論	あら 井 昭 雄	2 単 位
		2 ～ 4 年
		後 期

子どもの非行・いじめ・登校拒否等で、様々の深刻な問題をかかえる現在、学校において、「特別活動」は極めて重要な役割を果たす教育課程の一領域となっている。特別活動では生徒が受身の立場ではなく、自分で計画を立て活動を組織し実行するという、自主的・実践の態度の育成に基本的なねらいがあるからである。

本講義では、特別活動の各分野にわたってその指導の原理や方法を研究し、学校の活性化を図るために、特別活動の課題を明らかにしていきたい。講義ならびに具体的問題のプリントをもとに討議・意見交換を行っていく。

試 験：定期試験（中間・期末）とレポート（1～2回）で評定を行う。

テキスト名：柴田義松編著「特別活動－学校の活性化をめざす特別活動」ぎょうせい

生 徒 指 導 論	あら 井 昭 雄	2 単 位
		2 ～ 4 年
		前 期

学校教育は、インストラクションとガイダンスを車の両輪として運転されてこそ、その成果が期待できる。しかるに現実には、受験体制に押され、とかくガイダンスが軽視されたり、あるいは管理主義的な生徒指導に陥っている傾向も見られる。

生徒指導とは、本来生徒の可能性を引き出し、自己指導力を育成することにある。そのような意味において、生徒指導・進路指導・教育相談に関する基本的問題について、理論と実践を学習し、教員になるための資質を育成する。講義と課題発表・討義を併用する。

試 験：定期試験（中間・期末）及びレポート（1～2回）で評定を行う。

テキスト名：仙崎武編「生徒指導－生き方と進路の探究－」ぎょうせい

文部省「生徒指導の手引（改訂版）」大蔵省印刷局

教 育 実 習 I	ぬまの いちお あらいてるお 沼野一男・荒井昭雄 たはしけんじ 田原俊司	1 単 位
		3 年
		後 期

教育実習Ⅰは、学校の現場実習に臨むための事前指導である。教職課程担当の教員のほか、県・市教育委員会の課長・指導主事、中学校・高等学校の校長・教頭・教員の方々をお招きし、講義と演習を行う。

主なテーマは、  
 ・教育実習の意義・目的、  
 ・教員の服務と実習生の心得、  
 ・教育課程の理解、  
 ・生徒指導上の諸問題とカウンセリング、  
 ・教材研究と学習指導－よい授業とは－、  
 ・学習指導計画の立て方と指導案の作成、  
 ・学級・ホームルームの運営と指導、  
 ・教員の一日と学級・ホームルームの事務処理等。

試 験：出席及び実習日誌整理で評定する。

教 育 実 習 II		2 単 位
		4 年
		—

教育実習Ⅱは、中学校・高等学校で行う実習である。

## 〔4〕自由科目

特 別 英 語 演 習	2 単 位
	3～4年
	通 年

Both the speaking and the writing sections will make use of authentic materials, such as movie scripts and videos, novels, and newspaper articles. Instructors will create original lesson materials and activities. Authentic practice with debates, job interviews, writing essays and resumes, and public speech will allow students to explore some job-related functions of American English.

Students will also participate in publishing a news and feature magazine.

These courses require consistent attendance, and students must actively participate in classroom discussion.

フ ラ ン ス 語 III	ふじ た とも こ 藤 田 知 子	2 単 位
		3～4年
		通 年

2年間学んだフランス語を、日本語、英語との比較を通じてより身近かな言語とすることを目標にする。フランス語の音声、文法、構文等について、やさしい日常会話や読み易いテキストを素材に、日仏英を比較対照する。今までの私はフランス語を学ぶときは英語は忘れるように、と言ってきたのだが、方針を転換し、皆さんが持っている知識にすり寄り活かす方向で授業をしたいと思っている。

試 験：未定

テキスト名：必要に応じてプリントを配布する。

ド イ ツ 語 Ⅲ	しがなみ ゆう こ 志賀浪 優 子	2 単 位
		3～4年
		通 年

これまで2年間学んだ事を基礎として、会話中心に使えるドイツ語の訓練をします。

試 験：未定

テキスト名：Video 教材使用。



神田外語大学

千葉県千葉市美浜区若葉1-4-1